

熊本商工会議所 2024年経済予測アンケート 調査結果

KEY WORD

- ★景気の現状…前年に比べて「好転」は10.0ポイント増加、「悪化」は11.8ポイント減少となり、「好転」が「悪化」を23.5ポイント上回る結果となった。
- ★円市場予測…「円高傾向」が54.5%、「円安傾向」は45.5%で、円高傾向の予測が9.0ポイント上回った。
- ★株式市場予測…「株安傾向」が50.5%、「株高傾向」が49.5%となり、「株安傾向」と「株高傾向」の予測が拮抗する結果となった。
- ★金利予測…「金利上昇傾向」が84.5%、「金利下降傾向」は15.5%で、「金利上昇傾向」の予測が69.0ポイント上回った。
- ★物価予測…「上がる」が58.0%、「下がる」が42.0%を占めており、半数以上が「上がる」と予測。
- ★業況の見通し…「好転」が39.0%、「悪化」は22.0%で、「好転」予測が17.0ポイント上回った。
- ★経営上の重視点…1位「収益」、2位「売上高」、3位「コスト削減」
- ★経営上の問題点…1位「原油価格・材料費・仕入単価の上昇」、2位「人手不足」、3位「需要やニーズの停滞・変化」
- ★2024年に期待すること
 - 【国内（海外含む）】1位「国内景気の回復」
2位「物価の安定」
3位「雇用環境（人員確保含む）の改善」
 - 【県内】1位「熊本都市圏における交通渋滞の緩和」
2位「TSMC進出に伴う経済波及効果」
3位「熊本市中心市街地の賑わい回復」

熊本商工会議所

2023年12月

<本調査の問い合わせ>
熊本商工会議所 商工観光振興部 商工観光振興課
TEL 354-6688 FAX 352-5202

熊本商工会議所

2024年経済予測アンケート

INDEX

1. 調査概要	1
2. 回答企業	2
3. 景気の現状	3
4. 円市場予測	4
5. 株式市場予測	5
6. 金利予測	6
7. 物価予測	7
8. 業況の見通し	8
9. 経営上の重視点	16
10. 経営上の問題点	18
11. 2024年に期待すること	19

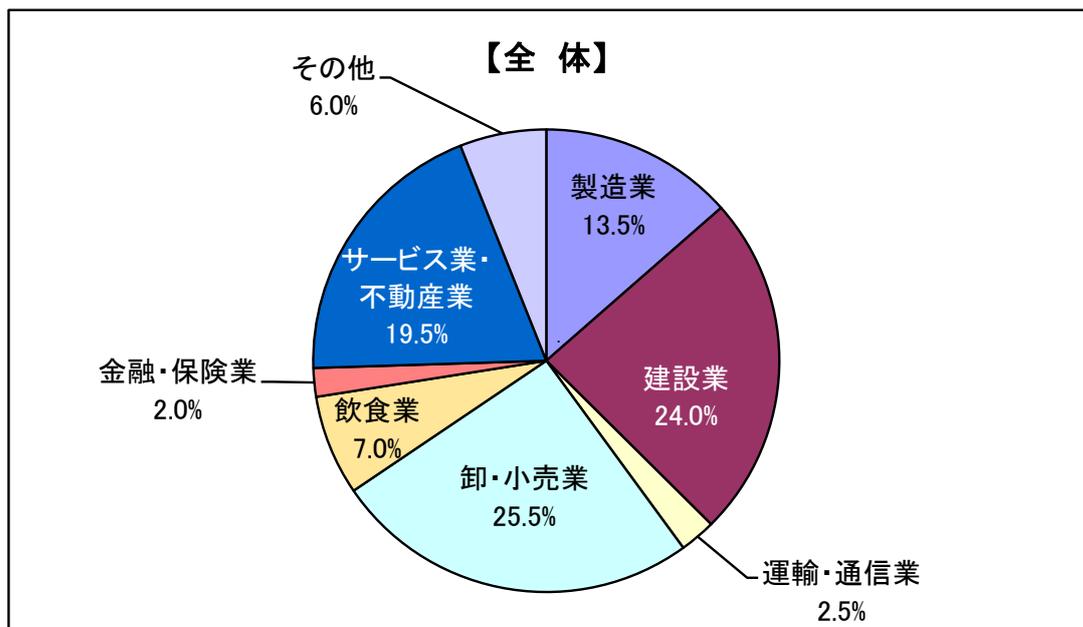
※ 巻末…「2024年経済予測アンケート」調査用紙

調査概要

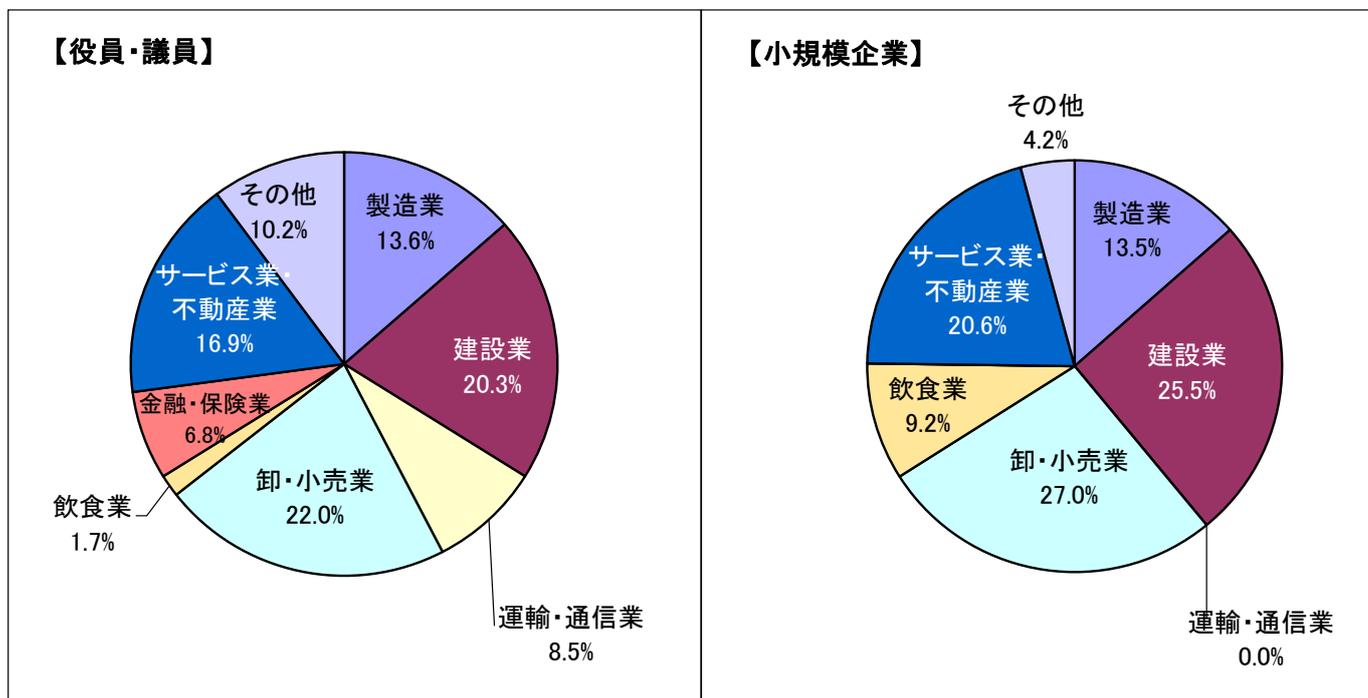
1. 調査期間 令和5年11月22日(水)～12月5日(火)
2. 対象者 熊本商工会議所 役員並びに議員 100名
熊本商工会議所経営動向調査モニター企業代表者 400名
(経営動向調査モニター企業は、小規模企業の割合が高いため
報告書においては小規模企業と表記する)
3. 配布数 500名
4. 調査方法 調査用紙配布:FAX・メール又は郵便送付
調査票回収:FAXまたはWEBフォームによる回答
5. 回答者数 200名(有効回答率 40.0%)
6. 調査機関 熊本商工会議所

※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはならない。

回答企業

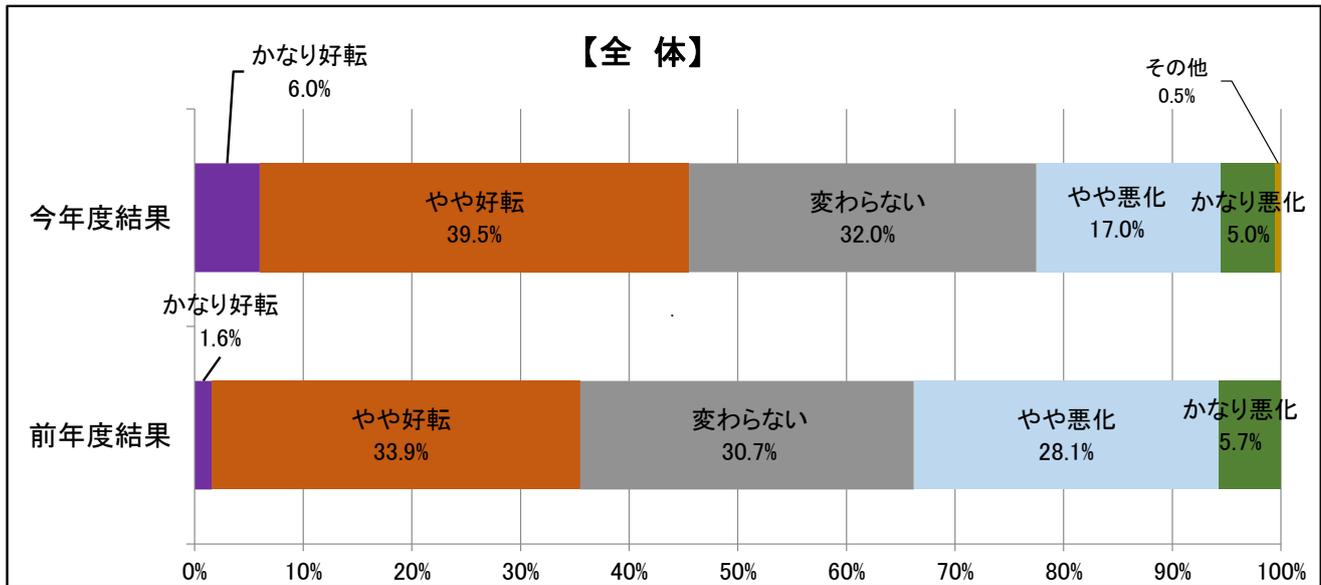


規模別の回答企業



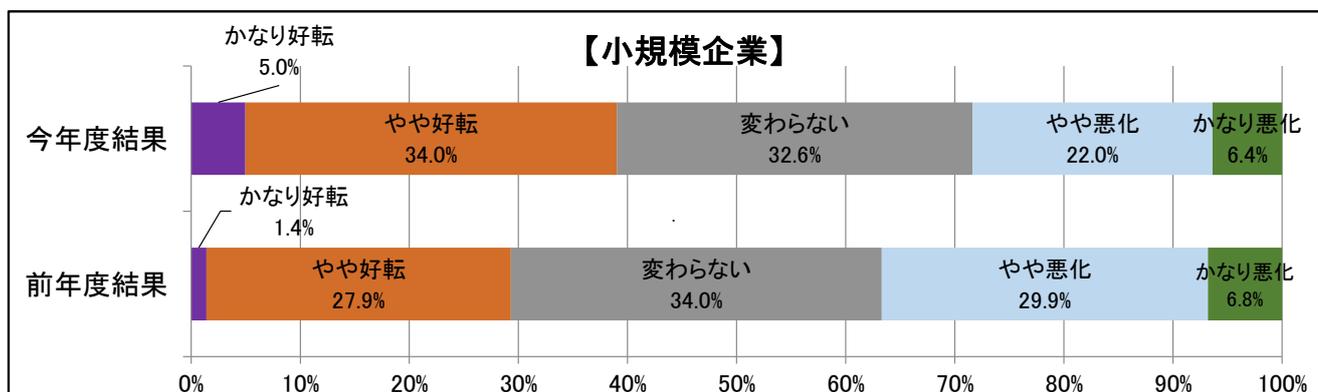
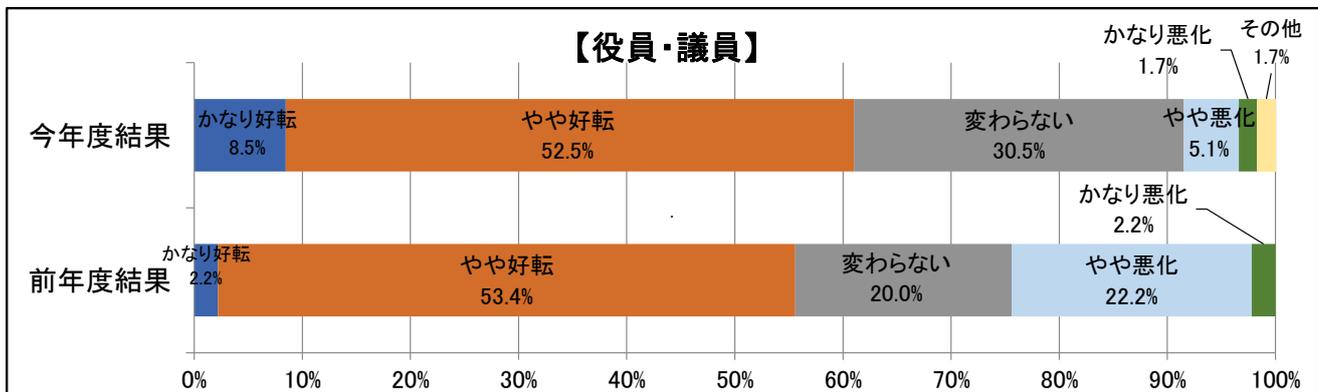
2023年11月 景気の現状

「好転」45.5%、「悪化」22.0%、「変わらない」32.0%となり、前年に比べて「好転」が10.0ポイント増加、「悪化」は11.8ポイント減少。「好転」が「悪化」を23.5ポイント上回る結果となった。



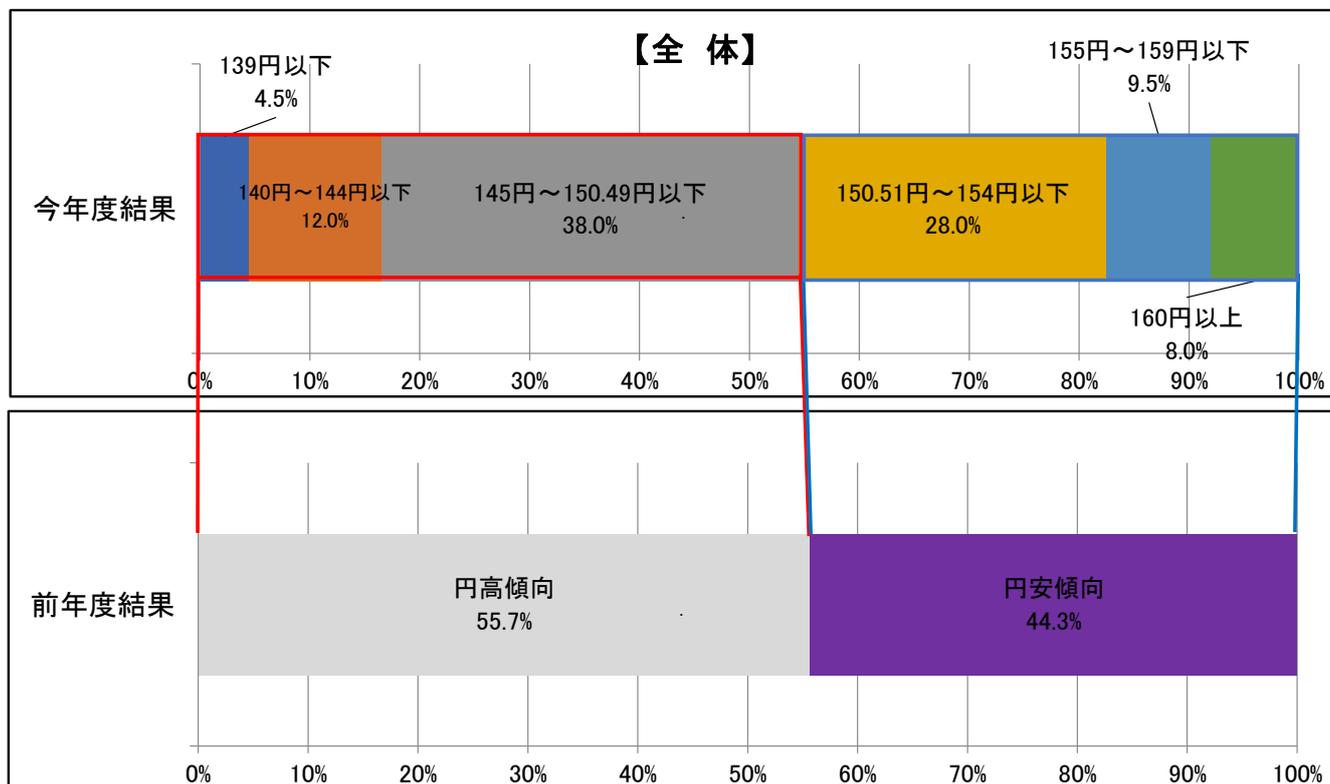
2023年11月 規模別の景気の現状

【役員・議員】は「好転」が61.0%で「悪化」は6.8%、【小規模企業】は「好転」が39.0%、「悪化」が28.4%で、企業規模で景気の現状について差が見られる結果となった。

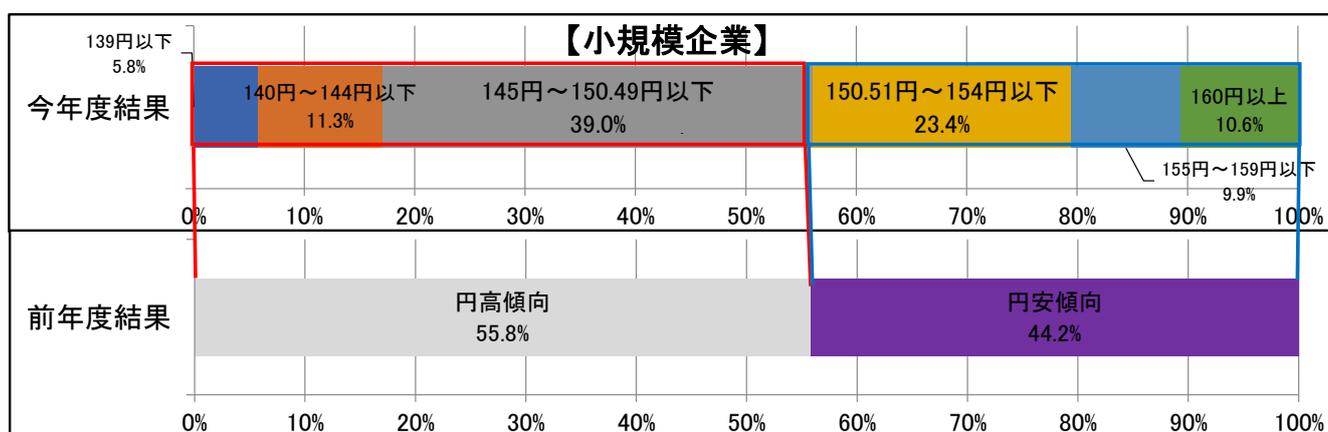
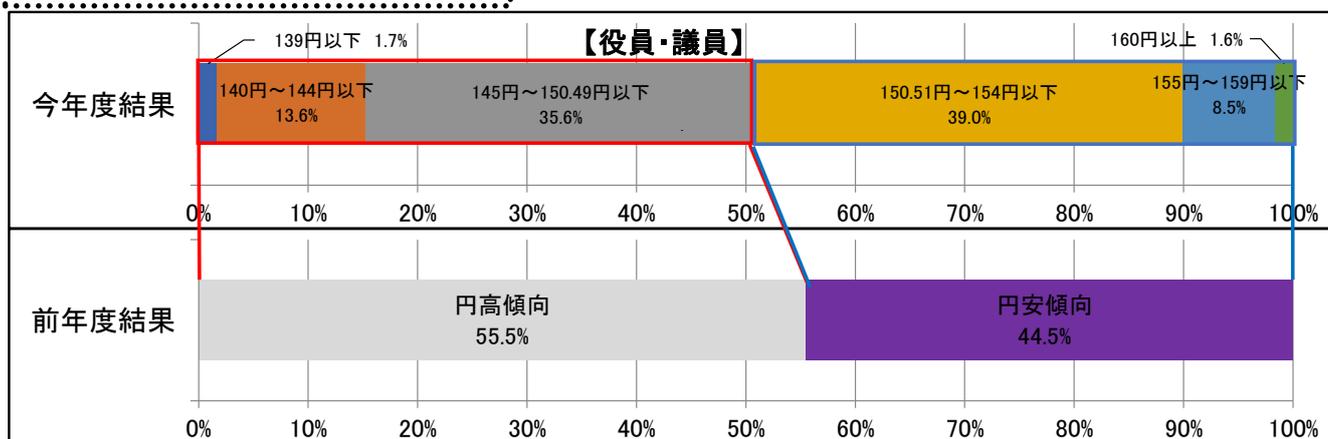


円市場予測

「円高傾向」が54.5%(対前年比-1.2ポイント)、「円安傾向」は45.5%(対前年比+1.2ポイント)で円高傾向の予測が9.0ポイント上回った。

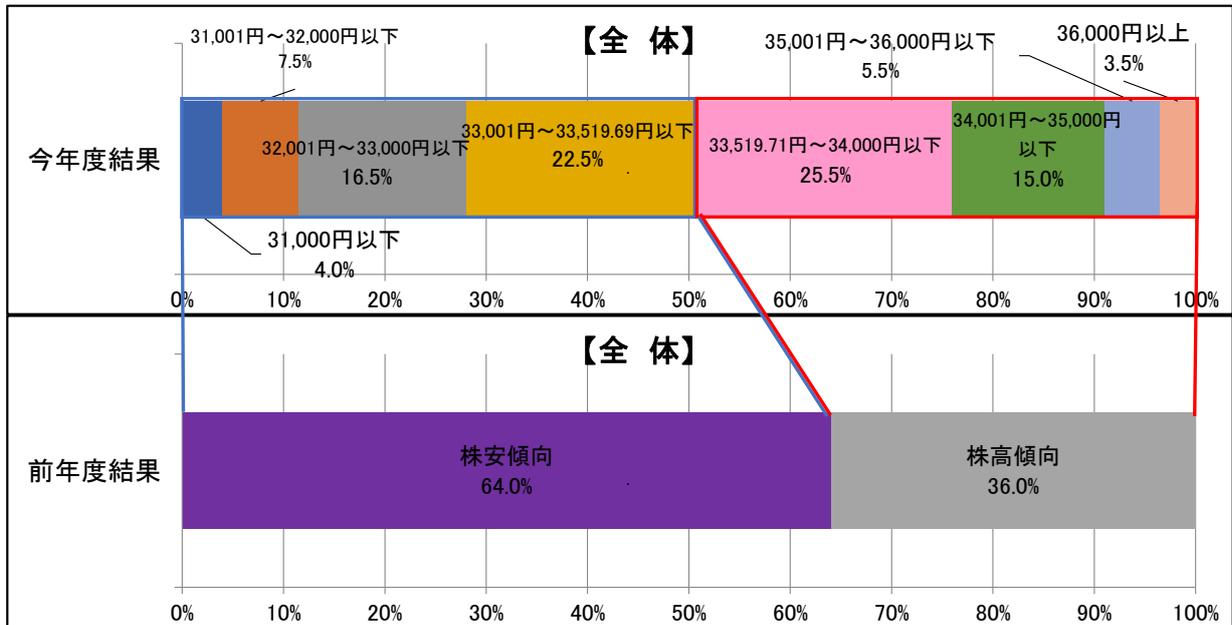


規模別の円市場予測



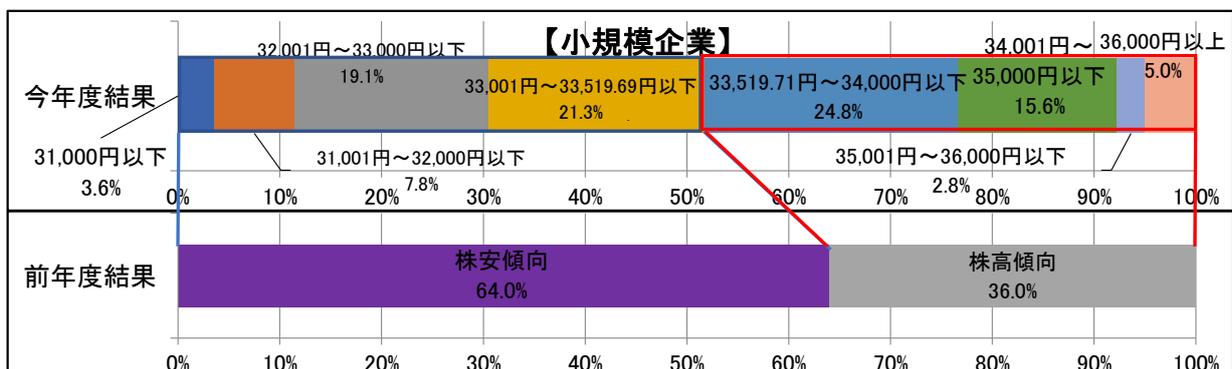
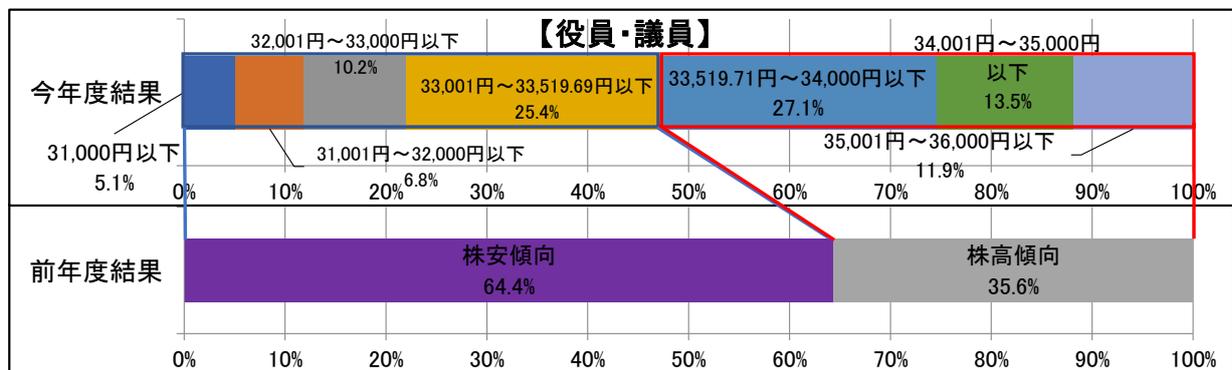
株式市場予測

「株安傾向」が50.5%（対前年比-13.5ポイント）、「株高傾向」が49.5%（対前年比+13.5ポイント）となり、「株安傾向」と「株高傾向」の予測が拮抗する結果となった。



規模別の株式市場予測

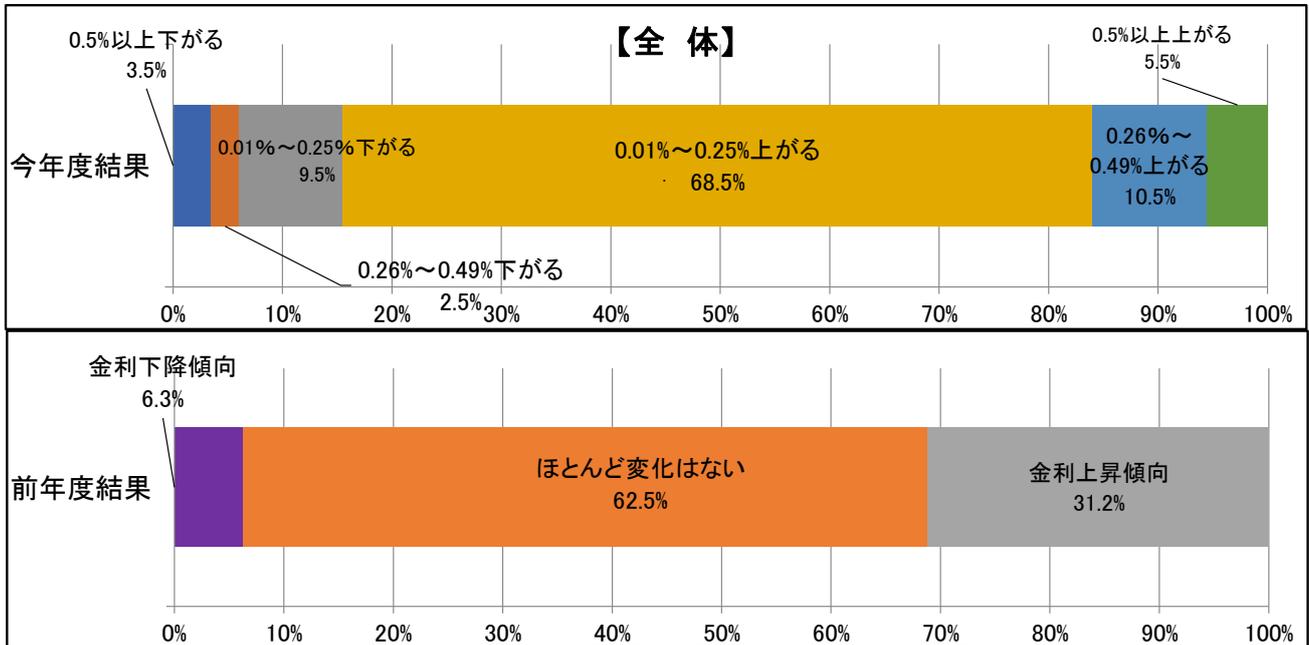
【役員・議員】は「株安傾向」が47.5%、「株高傾向」が52.5%と、昨年に比べて株高傾向が16.9ポイントアップした。【小規模企業】では「株安傾向」が51.8%、「株高傾向」が48.2%となり、昨年と比べて株高傾向が12.2ポイントアップした。



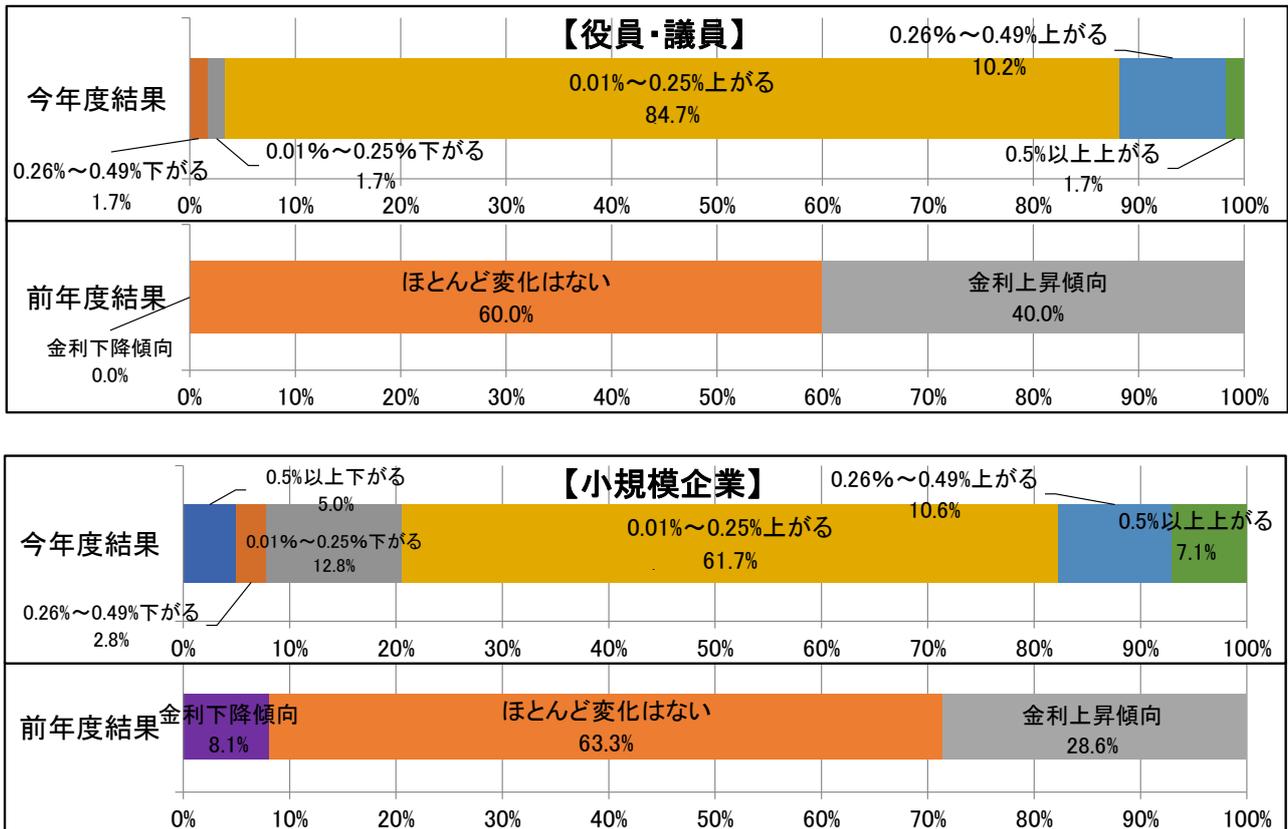
金利予測

「金利上昇傾向」84.5%、「金利下降傾向」は15.5%で、「金利上昇傾向」の予測が69.0ポイント上回った。

(※昨年は選択肢に「ほとんど変化はない」があったが、今年は選択肢から除外。)

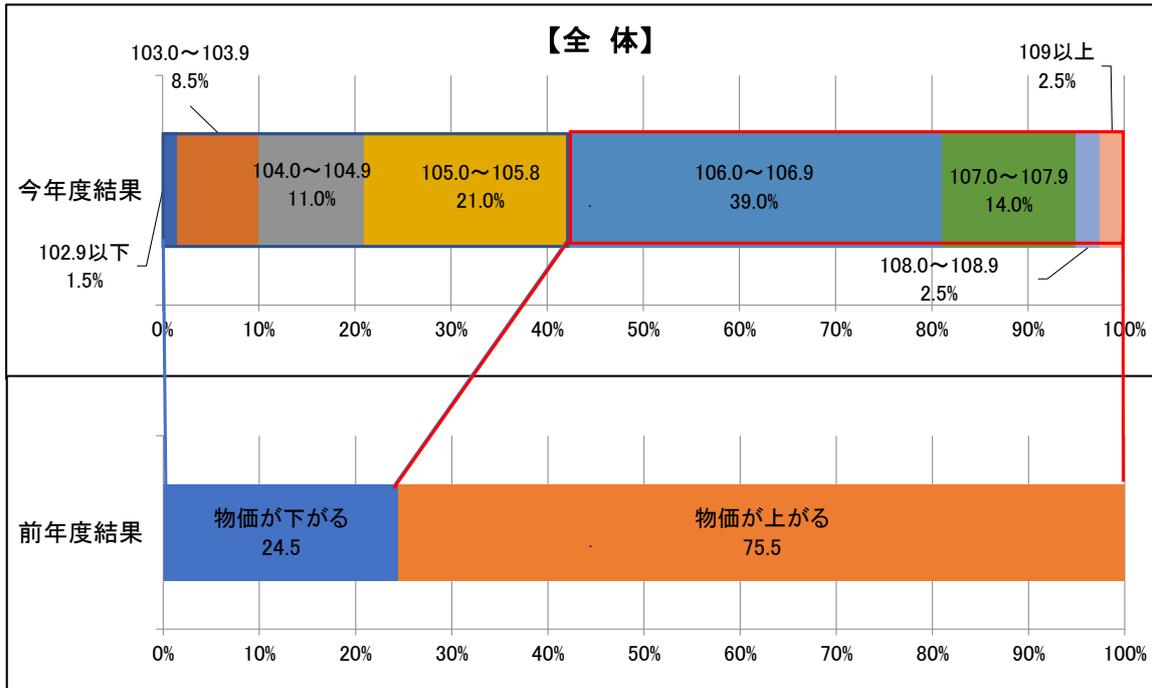


規模別の金利予測



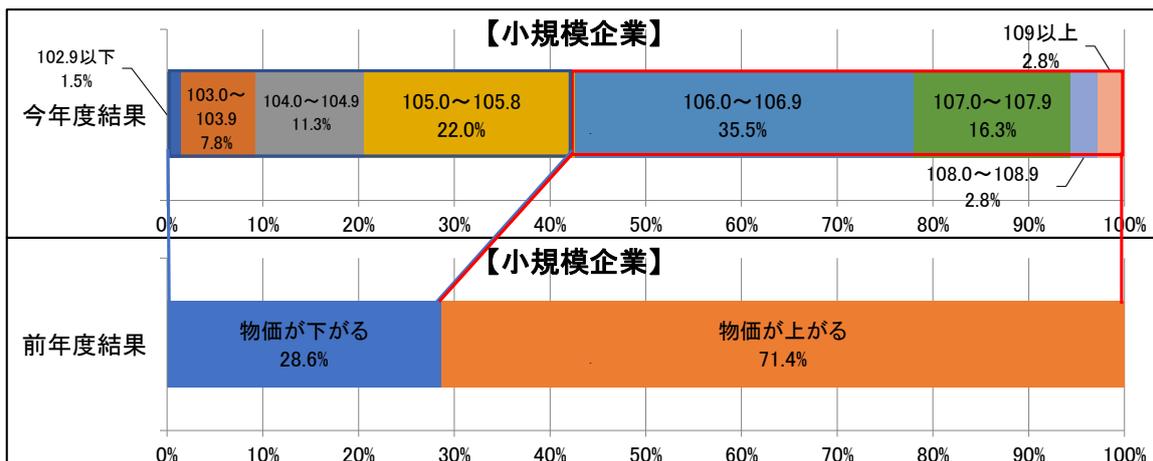
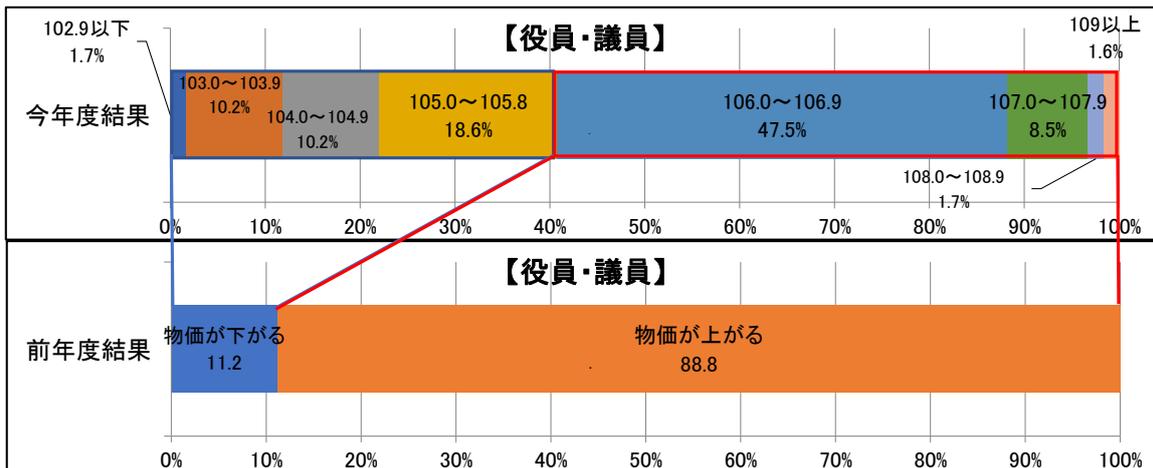
物価予測

熊本市の消費者物価指数の見通しについて、「上がる」が58.0%、「下がる」が42.0%で、半数以上が「上がる」と予測。なお、「上がる」との予測は前年と比較して17.5ポイント減少した。



規模別の物価予測

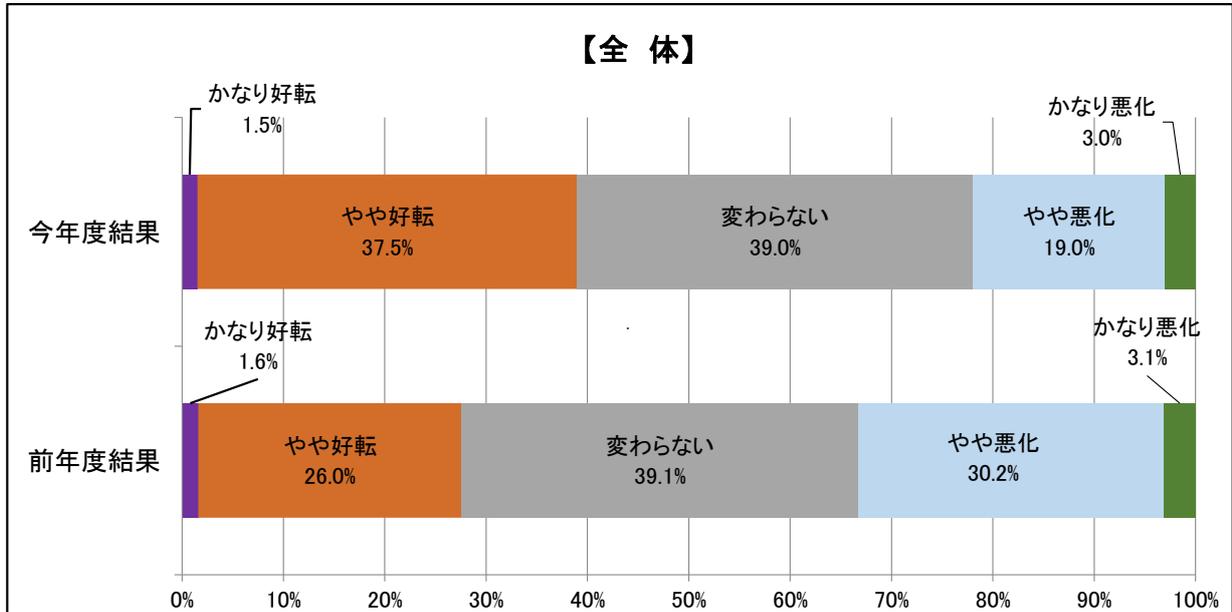
「上がる」と予測した【役員・議員】は前年と比べて29.5ポイント、【小規模企業】は14ポイントそれぞれ減少した。



2024年 業況の見通し

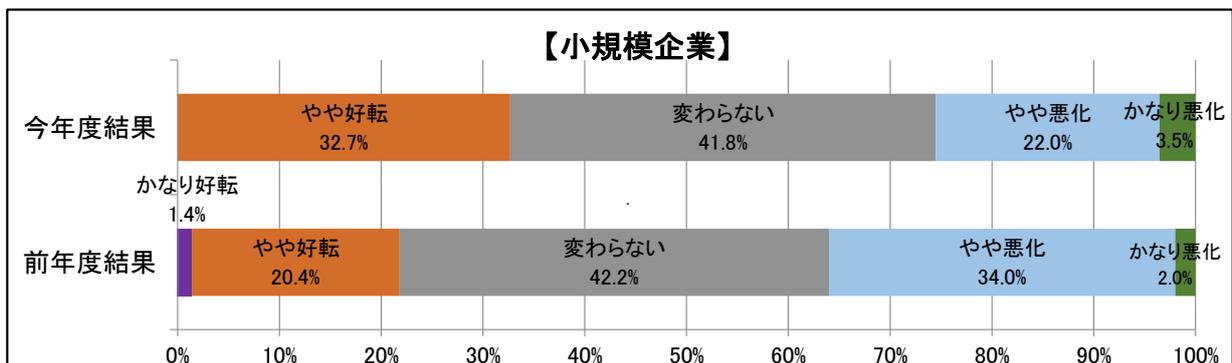
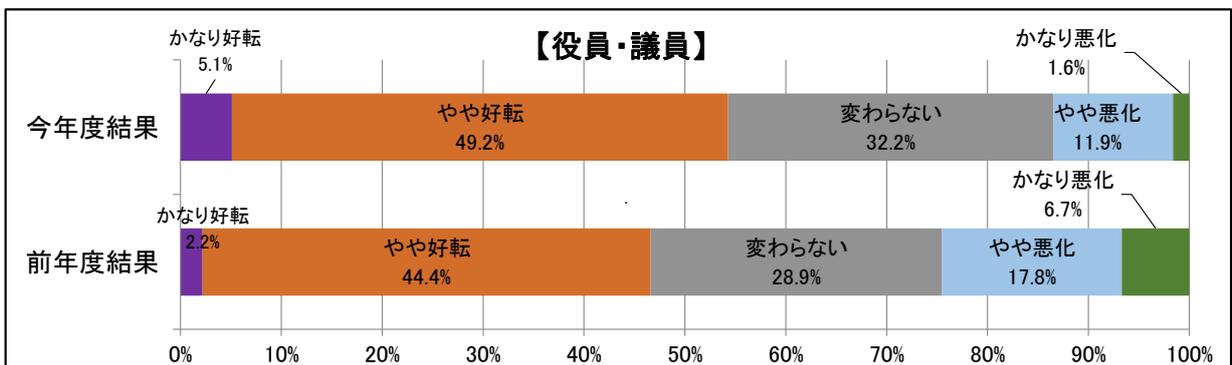
全業種

「好転」が39.0%（対前年比+11.4ポイント）、「悪化」は22.0%（対前年比-11.3ポイント）で、前年とは逆に「好転」が「悪化」を17.0ポイント上回り、「変わらない」と回答した割合は前年からほぼ変化はなかった。



2024年 規模別の業況の見通し

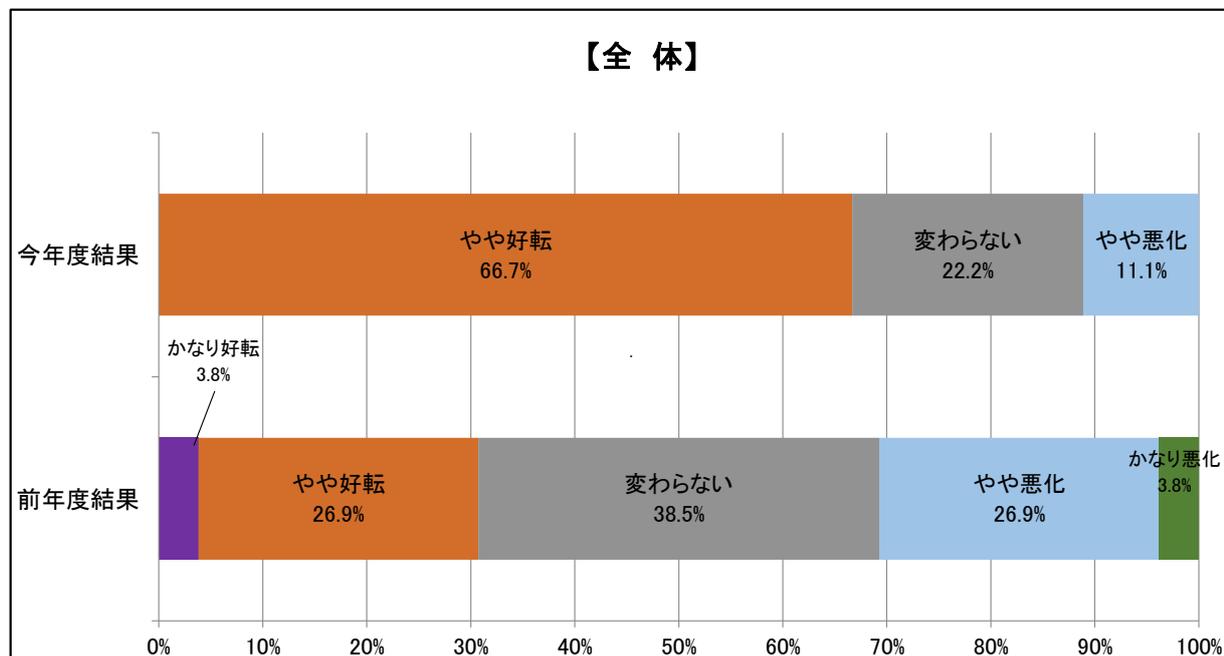
【役員・議員】は「好転」が54.3%と半数以上を占めているものの、【小規模企業】では「好転」は32.7%に留まった。



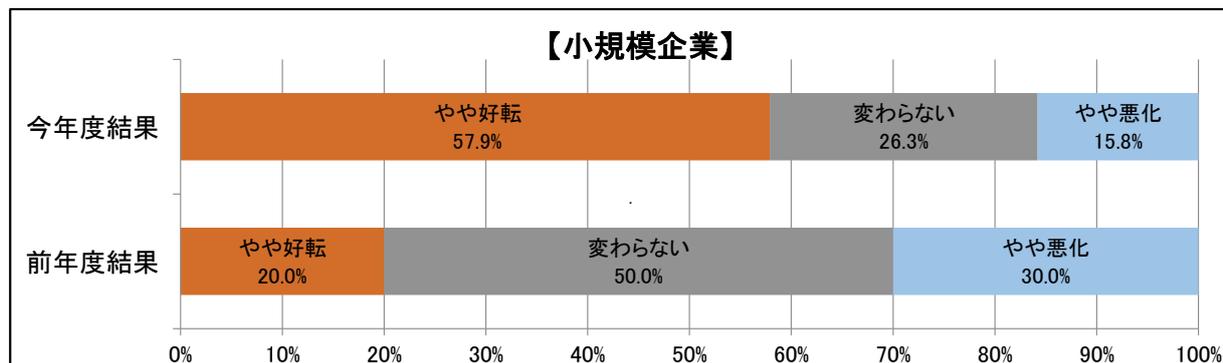
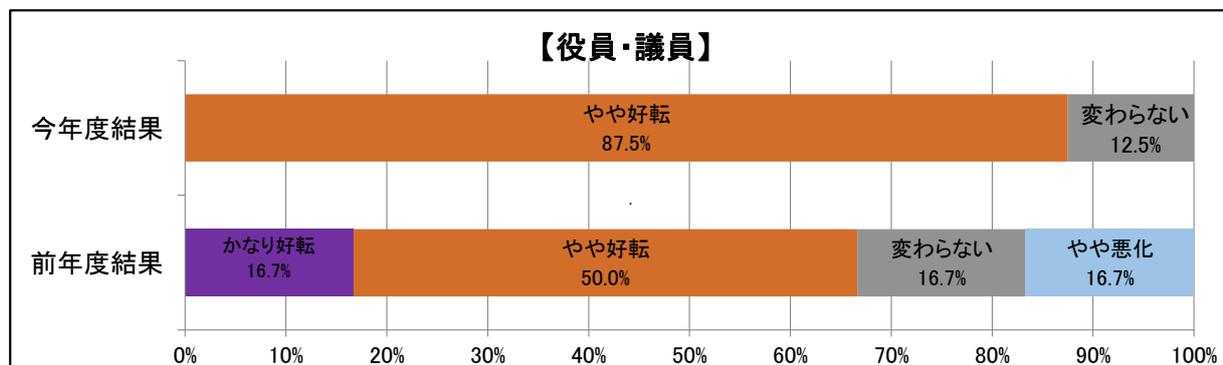
2024年 業況の見通し

製造業

「好転」が66.7%（対前年比+36.0ポイント）、「悪化」は11.1%（対前年比-19.6ポイント）で、「好転」が「悪化」を55.6ポイント上回る結果となった。



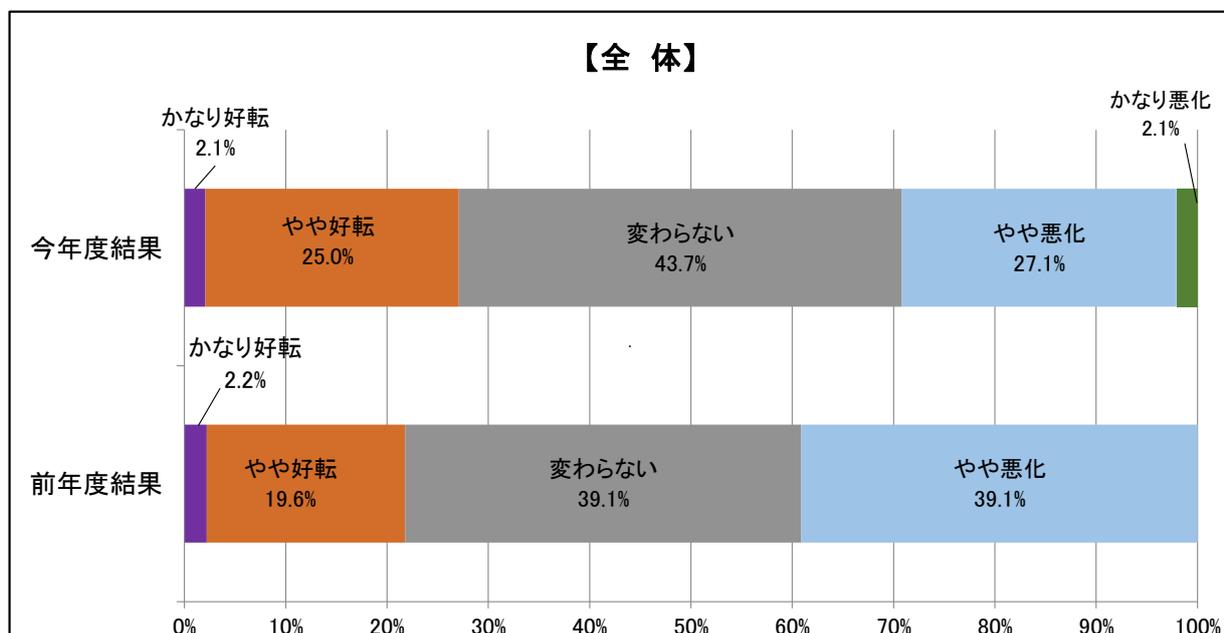
【役員・議員】は「好転」が87.5%（対前年比+20.8ポイント）。【小規模企業】では「好転」は57.9%（対前年比+37.9ポイント）となり、規模別での前年比では、小規模企業の「好転」が大幅にプラスになったものの、昨年同様に【役員・議員】の割合が高く、企業規模で差が見られる結果となった。



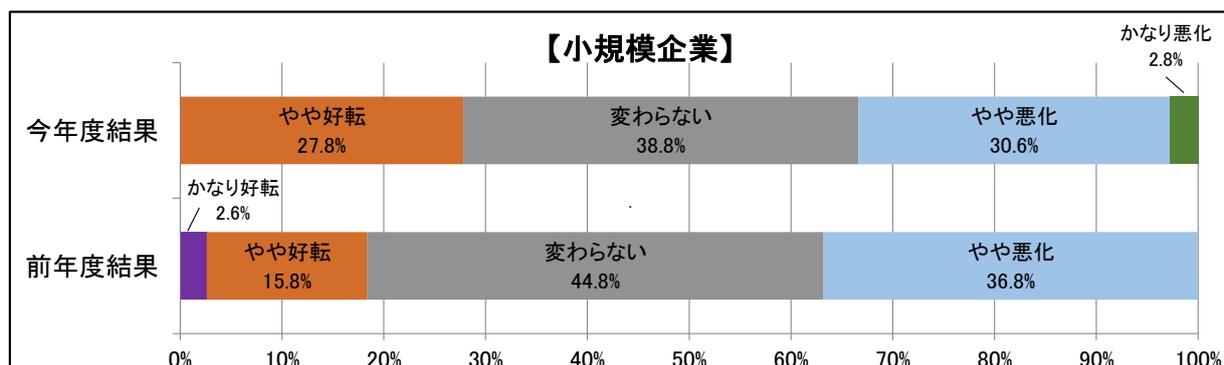
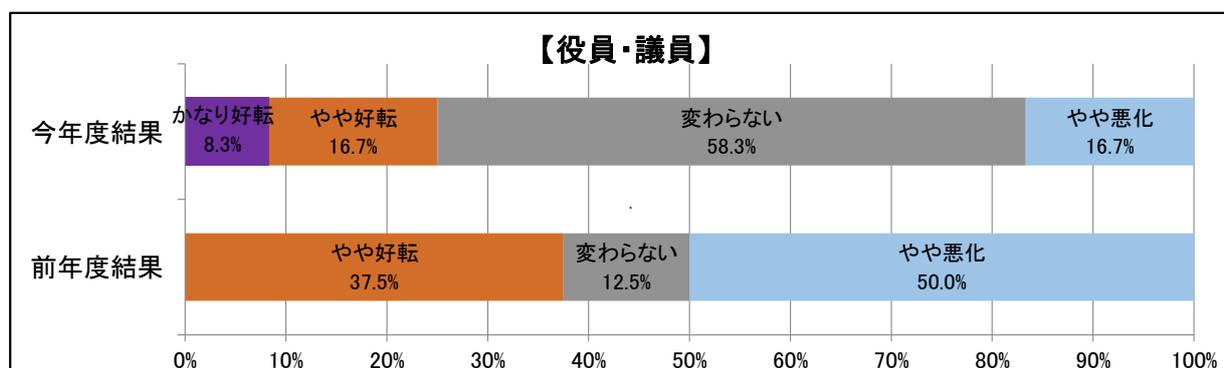
2024年 業況の見通し

建設業

前年は「悪化」が「好転」を17.3ポイント上回っていたが、今年は「好転」が27.1%（対前年比+5.3ポイント）、「悪化」は29.2%（対前年比-9.9ポイント）と、「好転」と「悪化」予測が拮抗する結果となった。



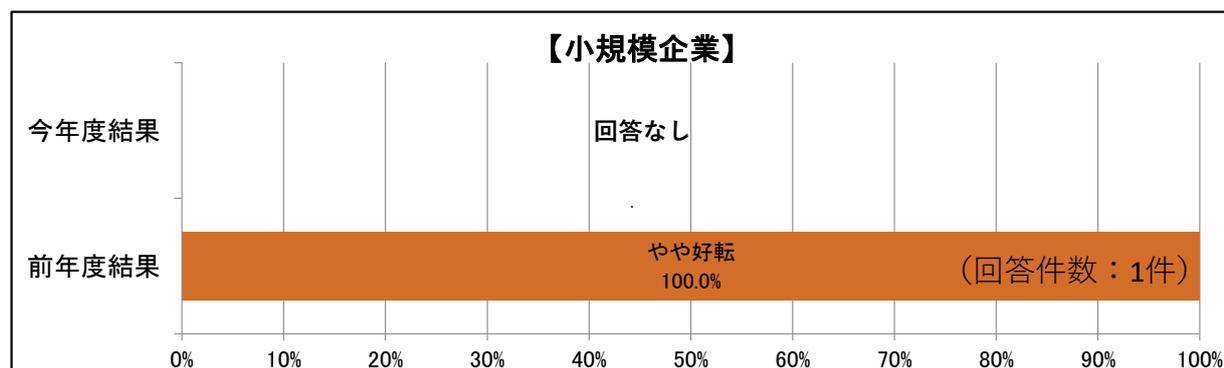
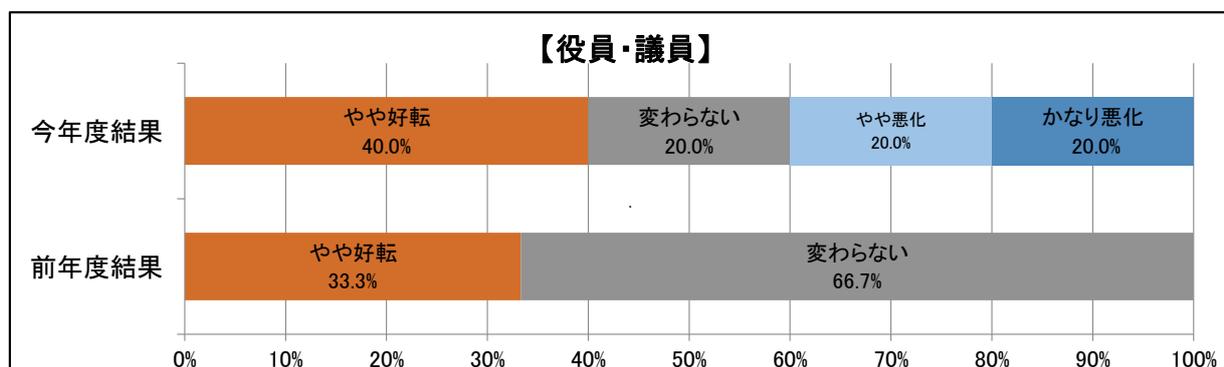
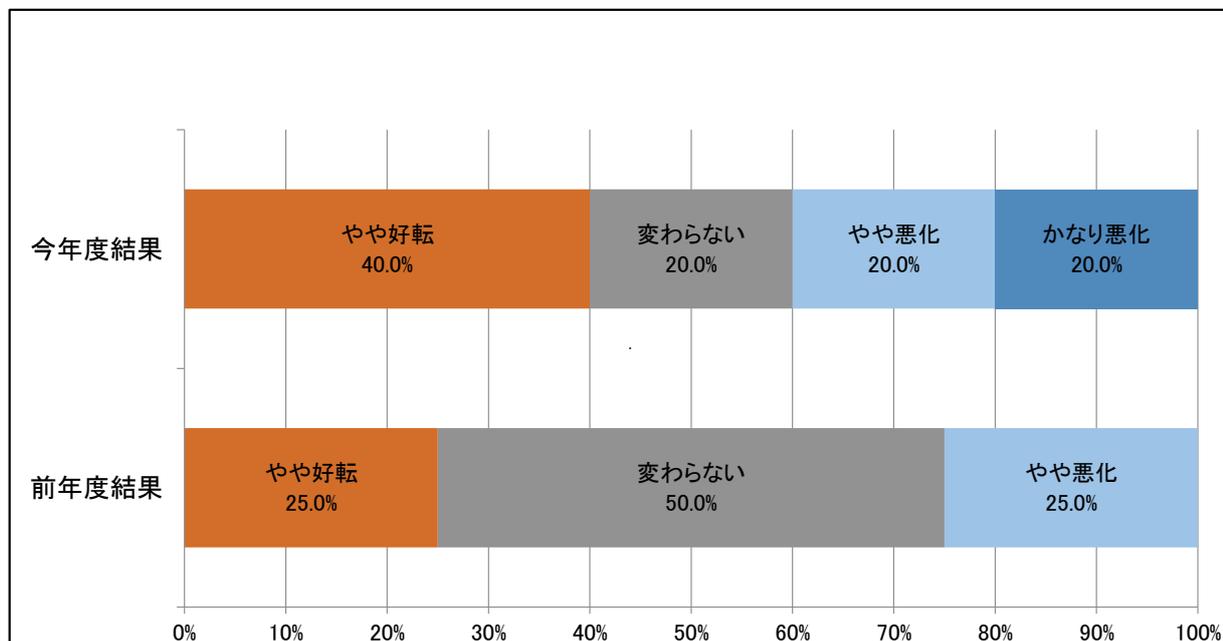
【役員・議員】は「変わらない」が最も多く58.3%（対前年比+45.8ポイント）、「好転」25.0%（対前年比-12.5ポイント）、「悪化」16.7%（対前年比-33.3ポイント）となった。【小規模企業】も「変わらない」が最も多く38.8%（対前年比-6.0ポイント）。「悪化」は33.4%で、【役員・議員】の16.7ポイントと比較すると、「悪化」と予測する割合が高い結果となった。



2024年 業況の見通し

運輸・通信業

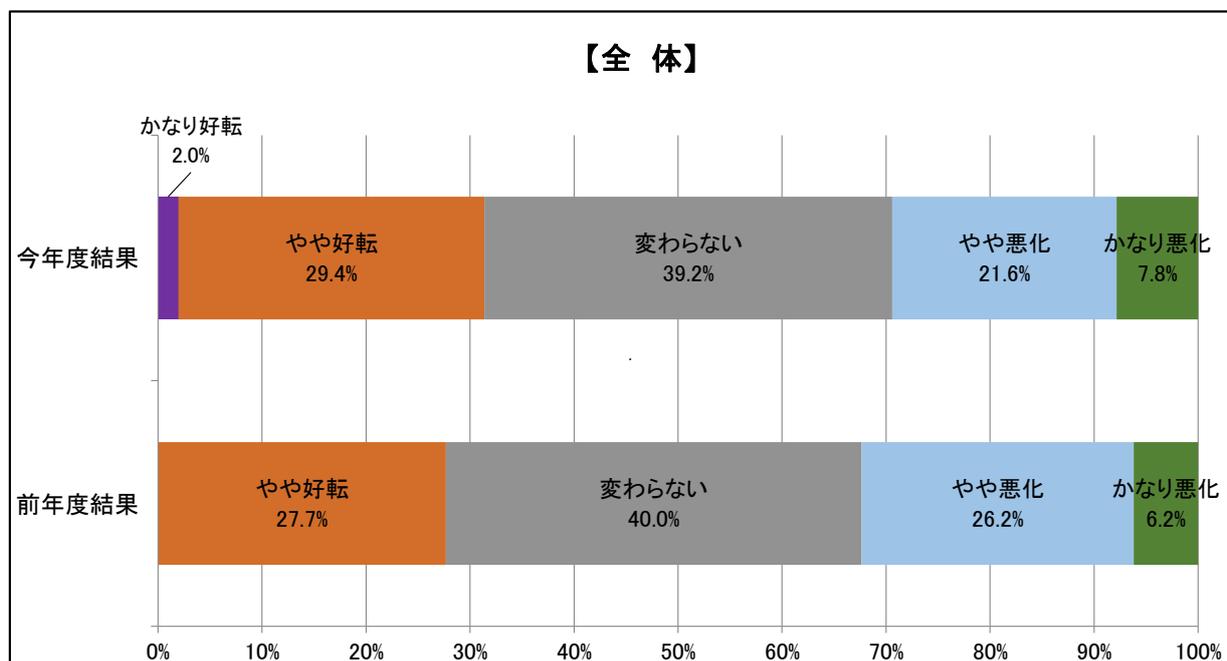
「好転」が40.0%（対前年比+15.0ポイント）、「悪化」も40.0%（対前年比+15.0ポイント）で、前年同様、「好転」と「悪化」予測が拮抗する結果となった。



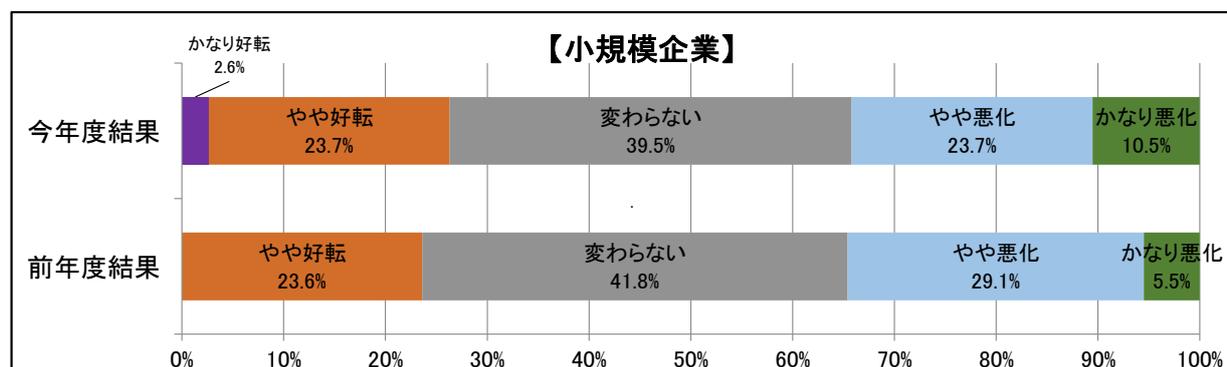
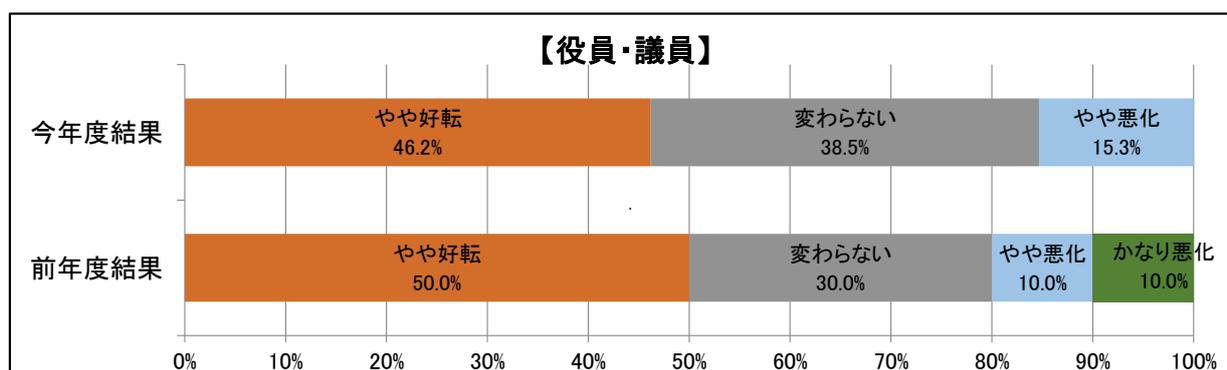
2024年 業況の見通し

卸売・小売業

「好転」が31.4%（対前年比+3.7ポイント）、「悪化」は29.4%（対前年比-1.9ポイント）で、「好転」と「悪化」予測が拮抗する結果となった。



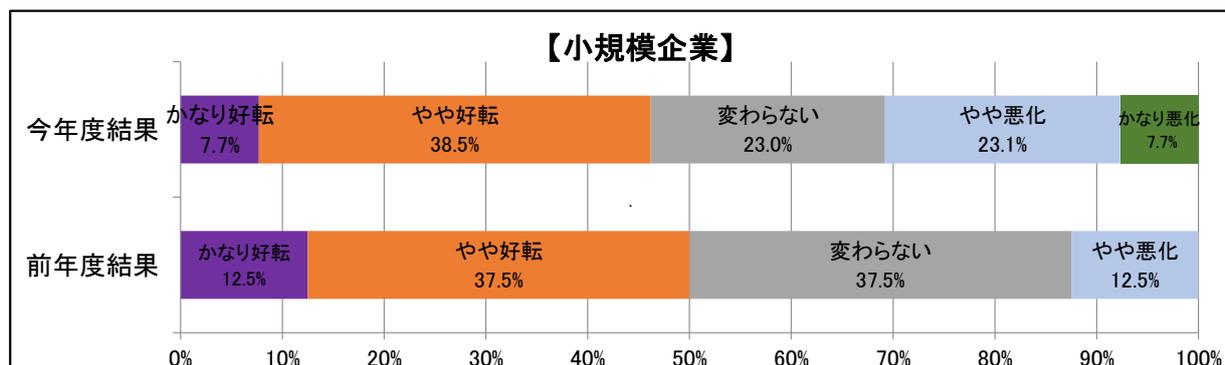
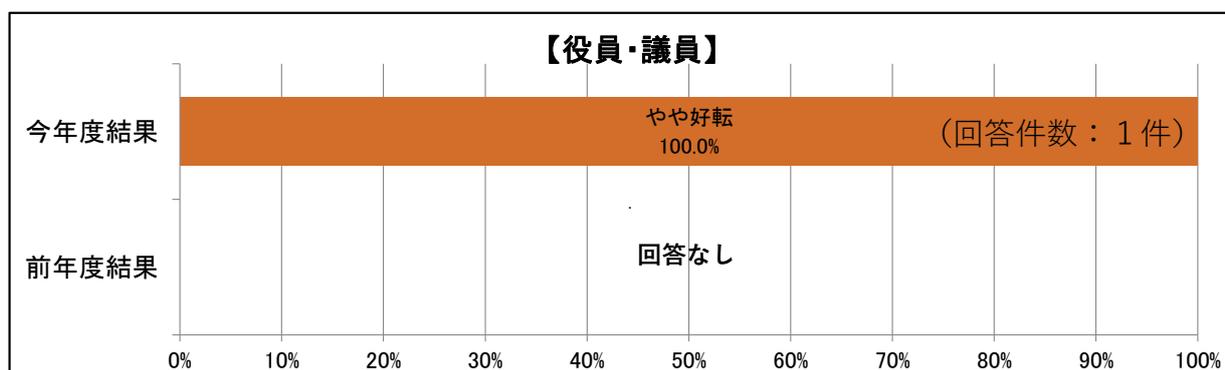
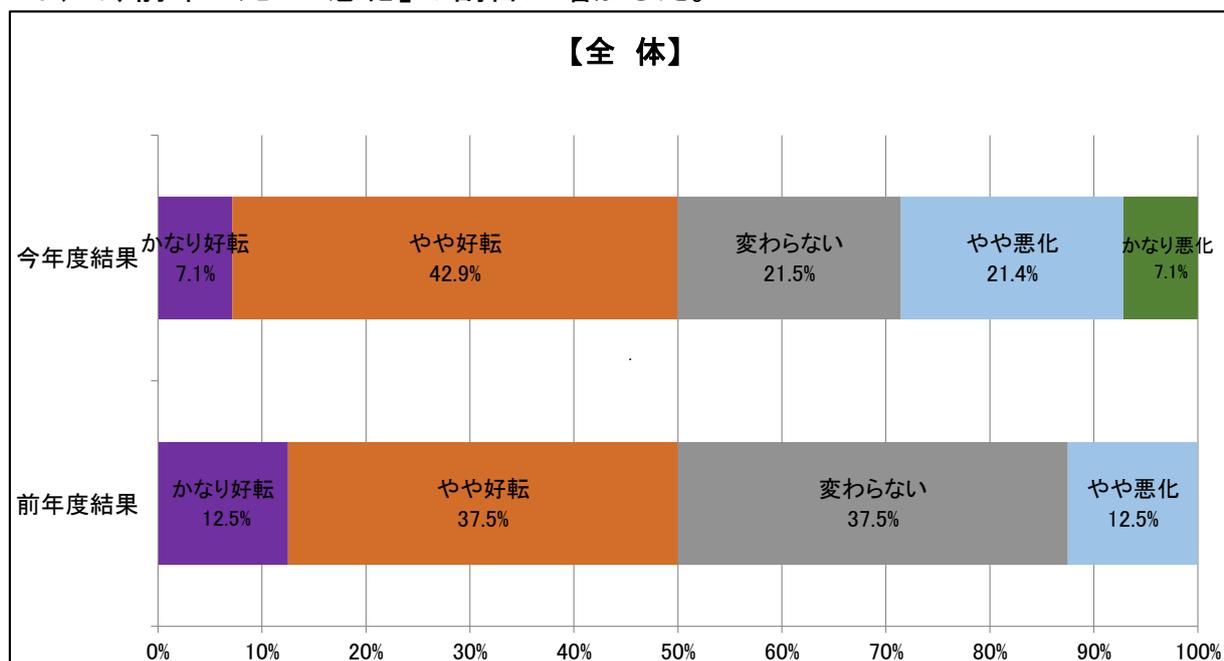
【役員・議員】は「好転」が46.2%（「悪化」15.3%）を占めたものの、【小規模企業】では「悪化」が34.2%で、「好転」の26.3%を7.9ポイント上回り、企業規模別で異なる結果となった。



2024年 業況の見通し

飲食業

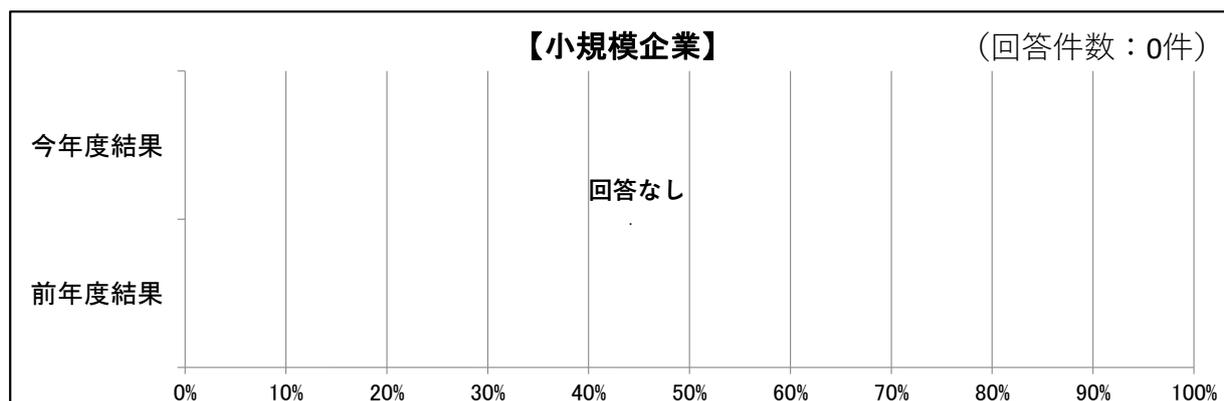
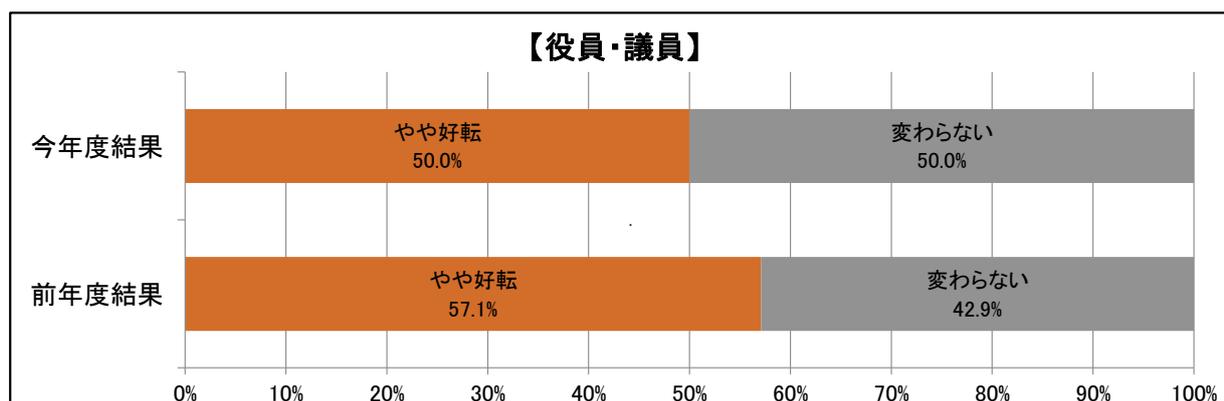
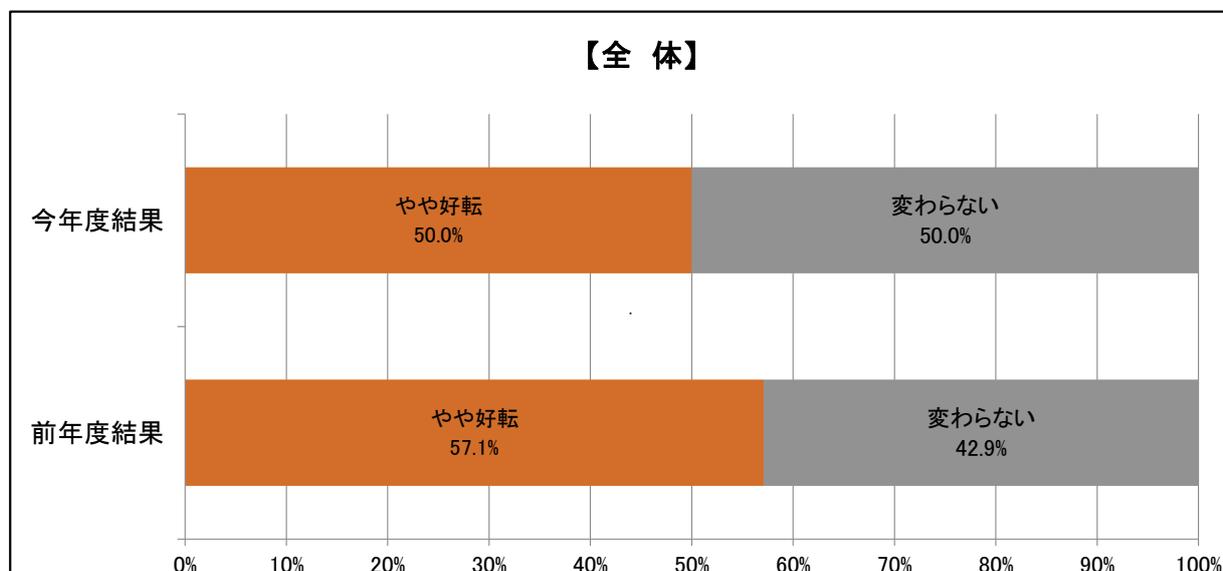
「好転」が50.0%（対前年比±0.0ポイント）、「悪化」は28.5%（対前年比+16.0ポイント）で、前年に比べ「悪化」の割合が増加した。



2024年 業況の見通し

金融・保険業

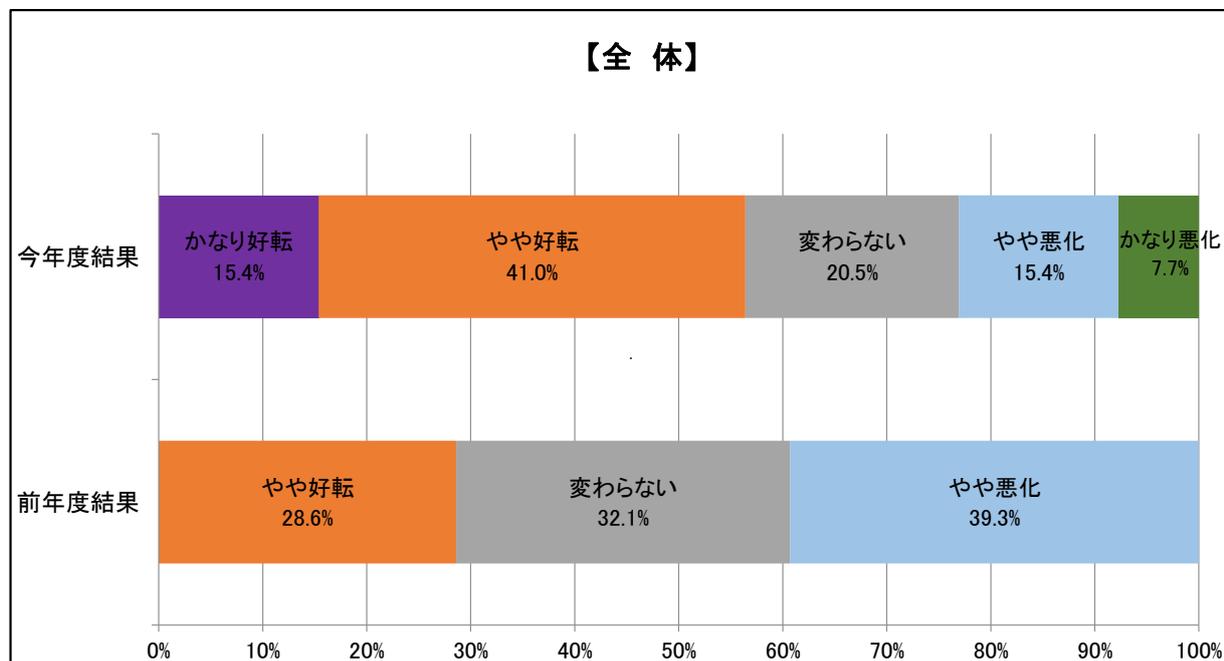
「好転」50.0%(対前年比-7.1ポイント)、「変わらない」50.0%(対前年比+7.1ポイント)で同じ割合となった。



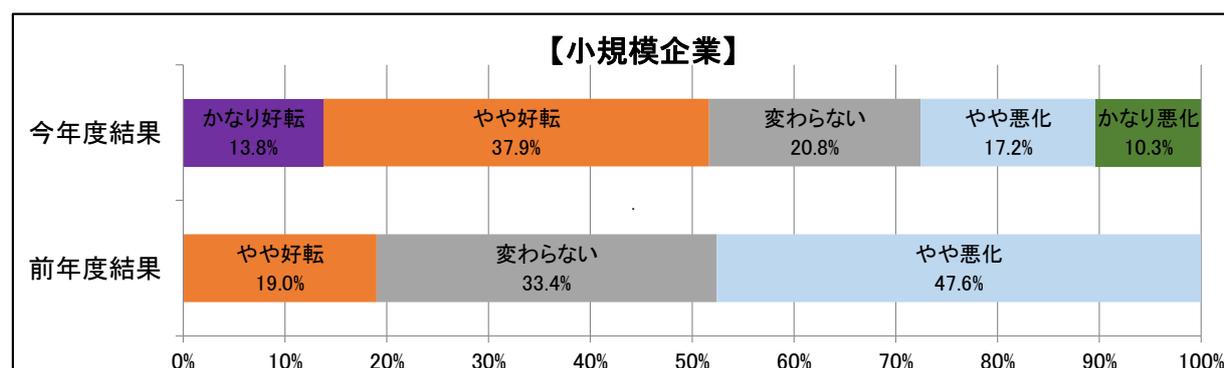
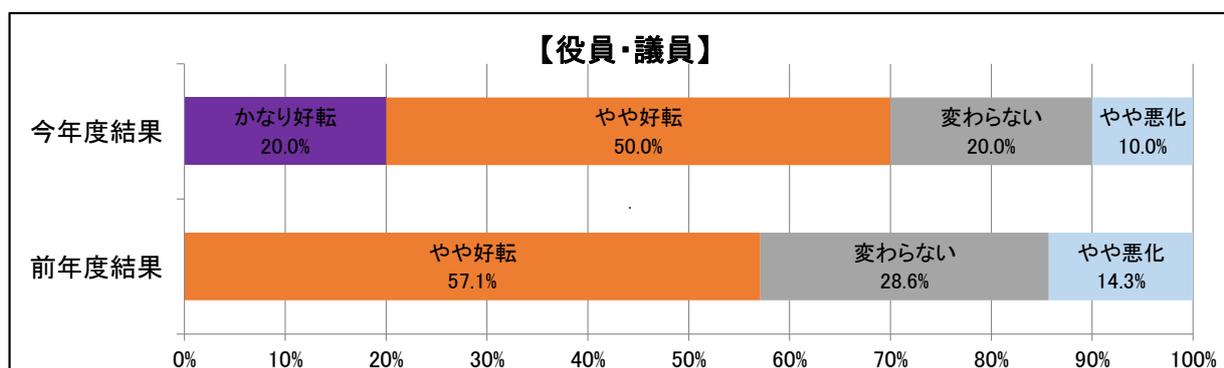
2024年 業況の見通し

サービス業・不動産業

「好転」は56.4%(対前年比+27.8ポイント)、「悪化」が23.1%(対前年比-16.2ポイント)で、「好転」が「悪化」を33.3ポイント上回った。



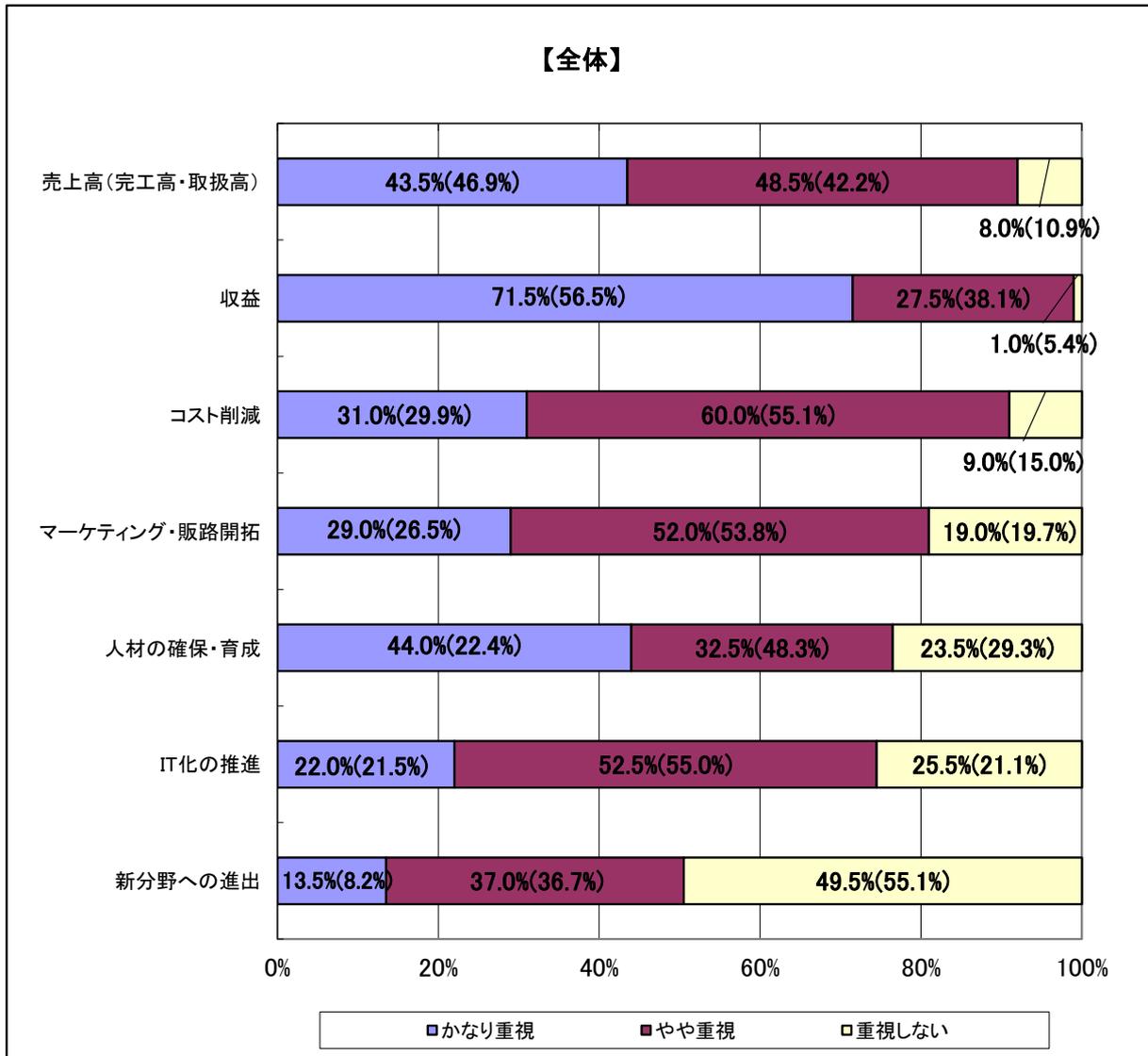
「好転」と回答した割合が、【役員・議員】は70.0%(対前年比+12.9ポイント)、【小規模企業】は51.7%(対前年比+32.7ポイント)で、どちらも過半数を占める結果となった。



経営上の重視点

※グラフの()内は、前年数値

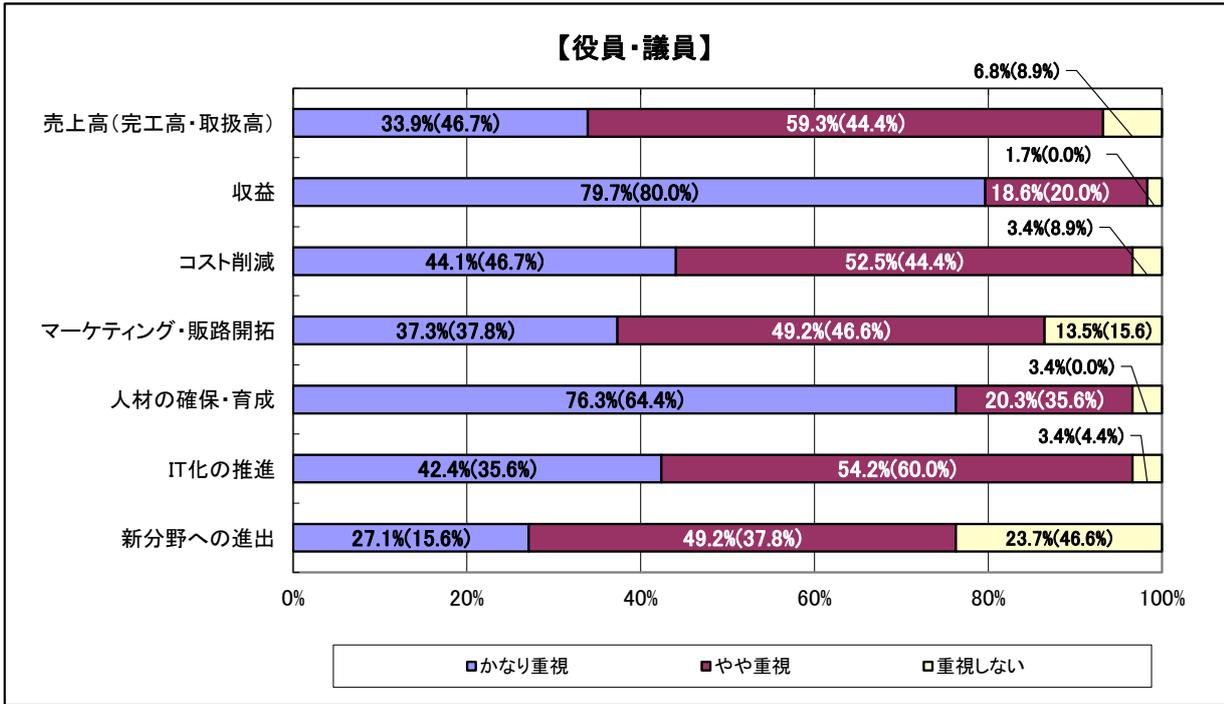
「重視する」割合が高いのは「収益」99.0%(対前年比+4.4ポイント)、次いで「売上高」92.0%(対前年比+2.9ポイント)、「コスト削減」91.0%(対前年比+6.0ポイント)となった。そのうち、「かなり重視する」の割合が高いのは「収益」71.5%(対前年比+15.0ポイント)、「人材の確保・育成」44.0%(対前年比+21.6ポイント)、「売上高」43.5%(対前年比-3.4ポイント)となった。



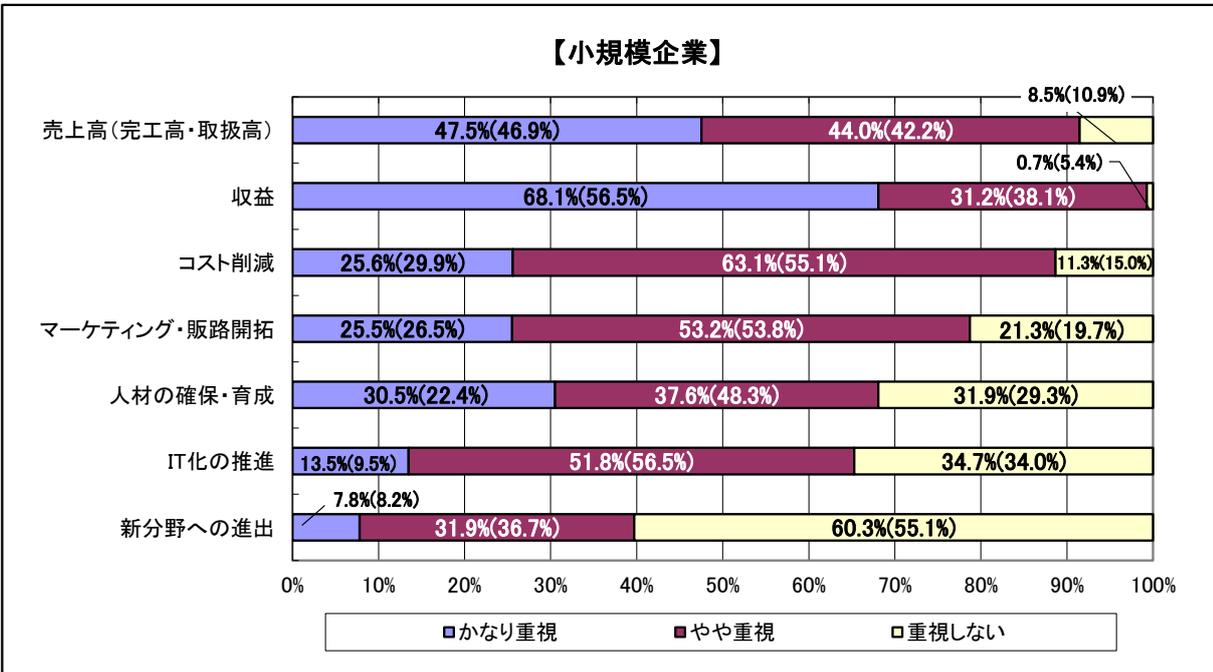
規模別の経営上の重視点

※グラフの()内は、前年数値

【役員・議員】では、全ての項目を重視されている中で「かなり重視」の1位が「収益」79.7%(対前年比-0.3ポイント)、2位が「人材の確保・育成」76.3%(対前年比+11.9ポイント)であり、突出して高い結果となった。



【小規模企業】では、「収益」99.3%(対前年比+4.7ポイント)が最も高く、次いで「売上高」91.5%(対前年比+2.4ポイント)、「コスト削減」88.7%(対前年比+3.7ポイント)となった。また、「人材の確保・育成」は68.1%(対前年比-2.6ポイント)、「IT化の推進」は65.2%(対前年比-0.8ポイント)で、規模によって経営上の重視点の違いが見られた。



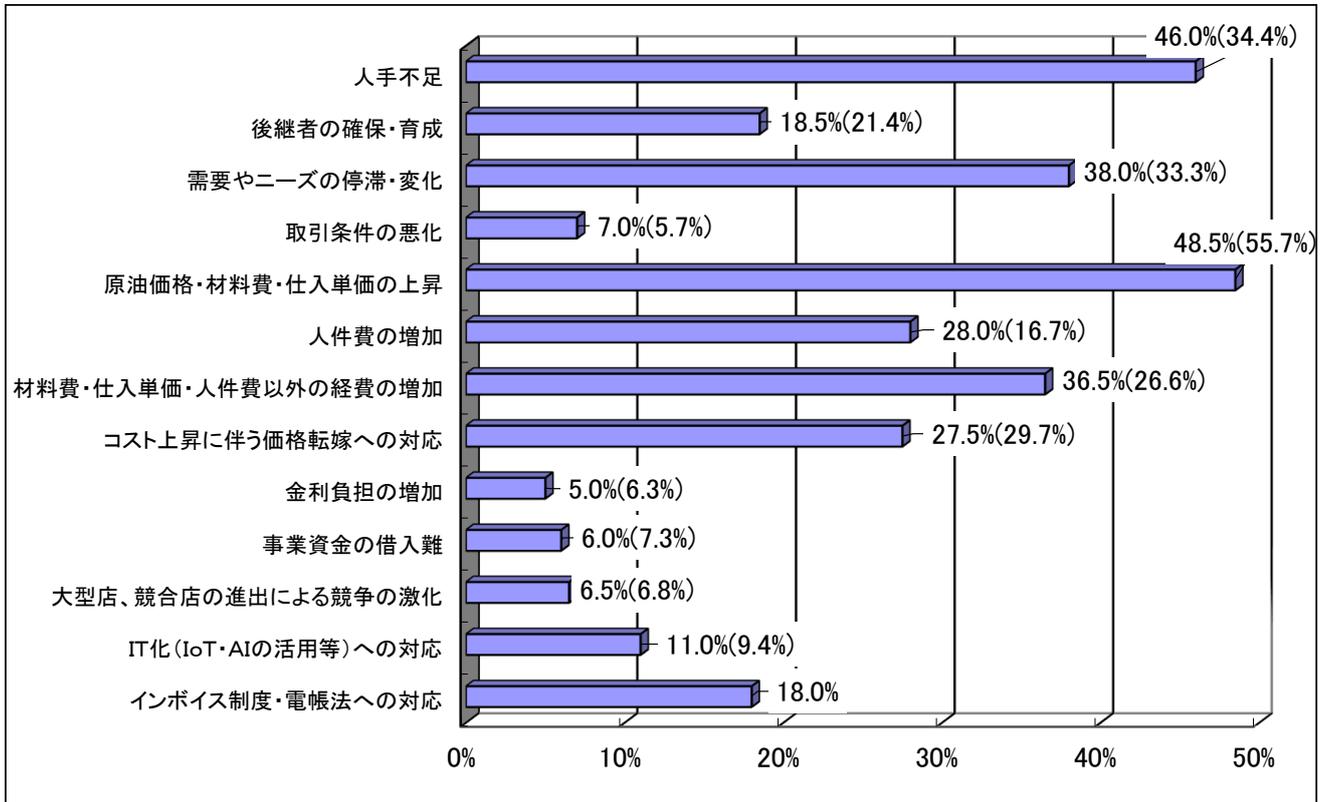
経営上の問題点

(複数回答)

※グラフの()内は、前年数値(前年に設問があったもののみ)

「原油価格・材料費・仕入単価の上昇」48.5%(対前年比+7.2ポイント)、「人手不足」46.0%(対前年比+11.6ポイント)、「需要やニーズの停滞・変化」38.0%(対前年比+4.7ポイント)がトップ3。円安や原油高に起因する原材料費高騰の長期化や慢性的な人手不足を反映した結果となった。

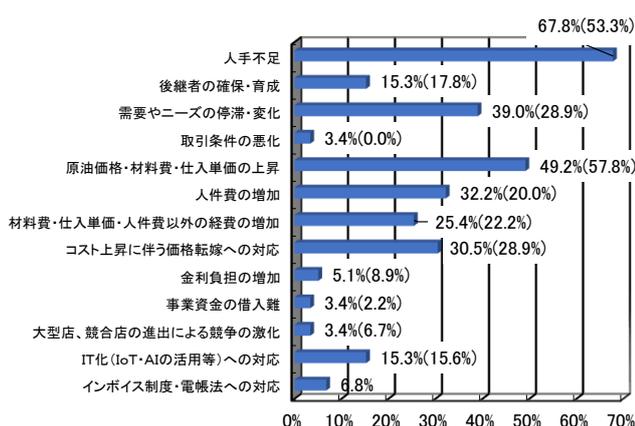
【全体】



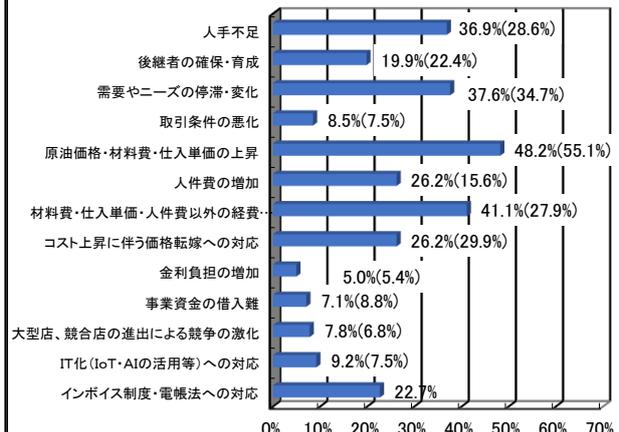
規模別の経営上の問題点

「人手不足」は【役員・議員】が【小規模企業】より+30.9ポイント高く、「インボイス制度・電帳法への対応」は【小規模企業】が【役員・議員】より15.9ポイント高い結果となった。

【役員・議員】



【小規模企業】

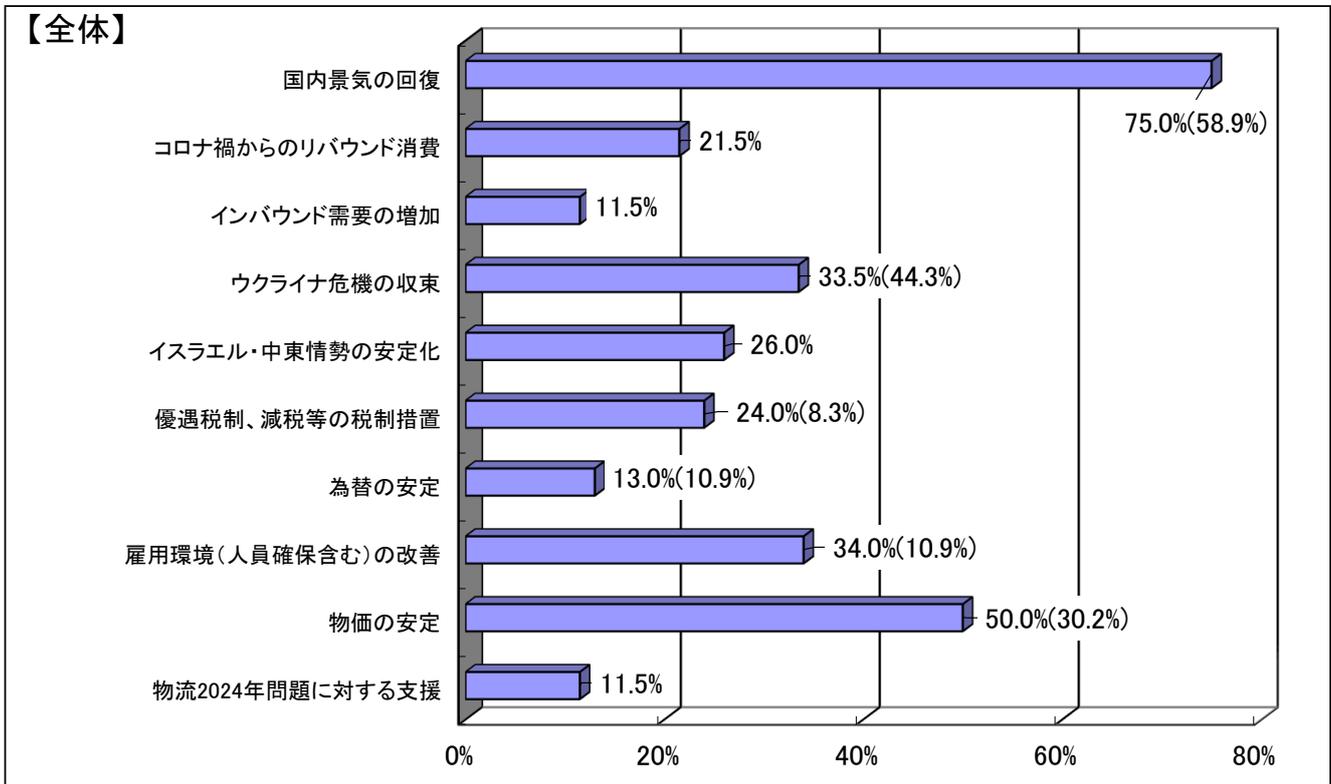


2024年に期待すること【国内・海外】

(複数回答)

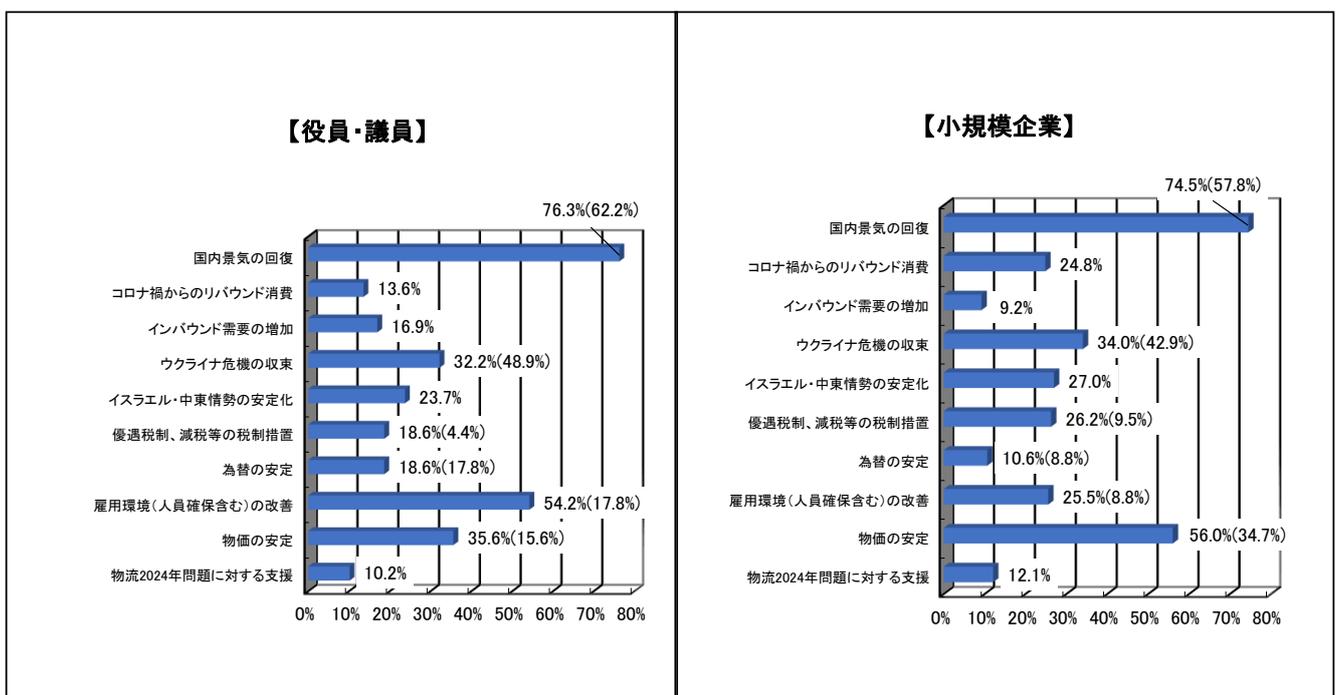
※グラフの()内は、前年数値(前年に設問があったもののみ)

「国内景気の回復」75.0%(対前年比+16.1ポイント)、「物価の安定」50.0%(対前年比+19.8ポイント)、「雇用環境(人員確保含む)の改善」34.0%(対前年比+23.1ポイント)が上位を占めた。



規模別での回答

「雇用環境(人員確保含む)の改善」は【役員・議員】が【小規模企業】より28.7ポイント高く、「物価の安定」は【小規模企業】が【役員・議員】よりも20.4ポイント高い結果となった。



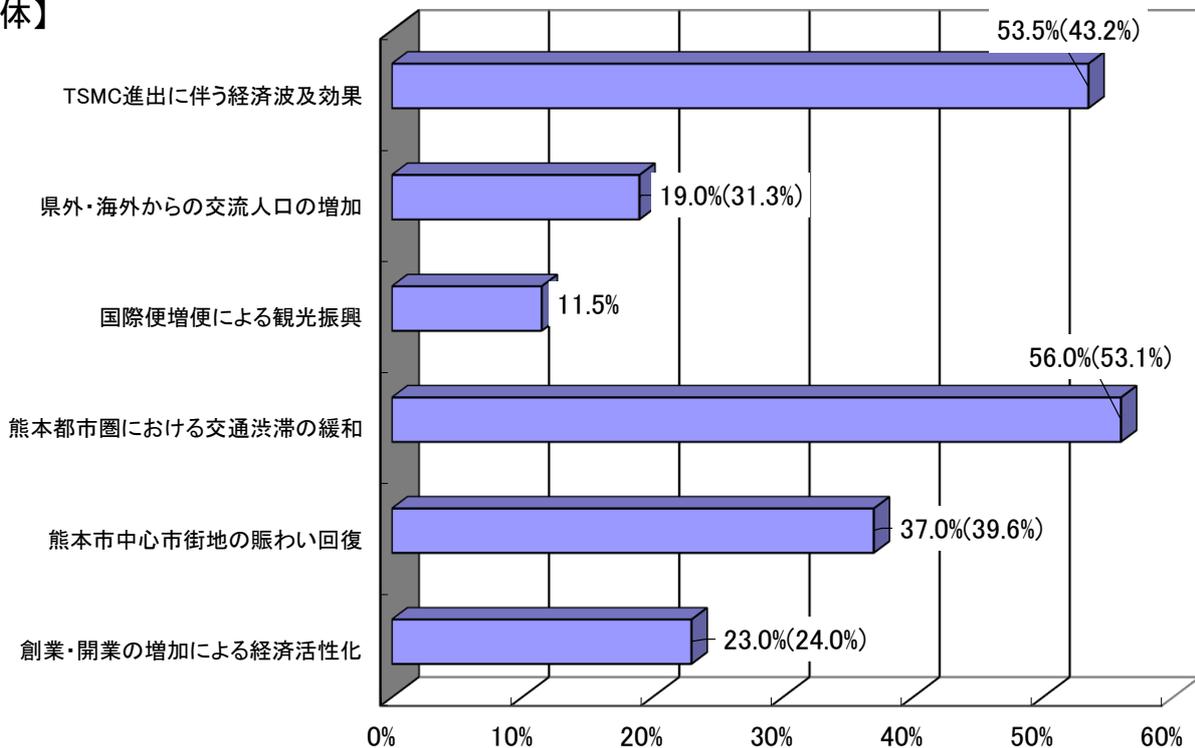
2024年に期待すること【県内】

(複数回答)

※グラフの()内は、前年数値(前年に設問があったもののみ)

「熊本都市圏における交通渋滞の緩和」56.0%、「TSMC進出に伴う経済波及効果」53.5%、「熊本市中心市街地の賑わい回復」37.0%が上位を占め、人流の増加、物流の円滑化等による景気回復への期待が高まっている結果となった。

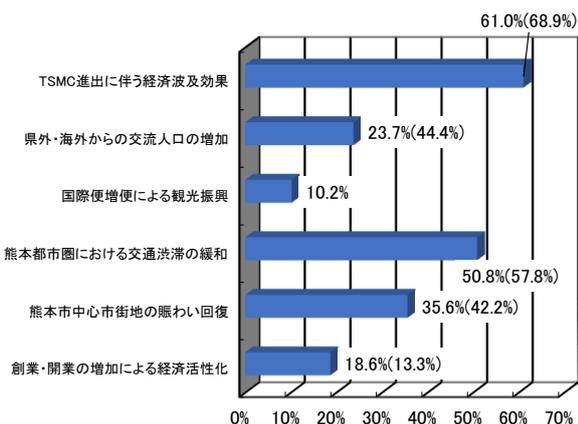
【全体】



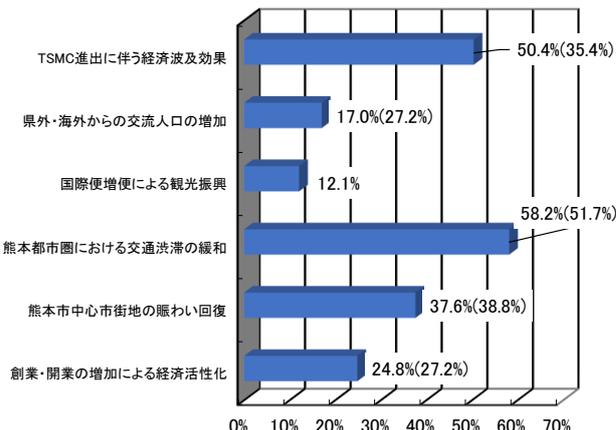
規模別での回答

【役員・議員】は「TSMC進出に伴う経済波及効果」、【小規模企業】は「熊本都市圏における交通渋滞の緩和」がトップ。また、前年と比べて、【小規模企業】の「TSMC進出に伴う経済波及効果」への期待は15.0ポイントアップした。

【役員・議員】



【小規模企業】



2024年経済予測アンケート

(役員議員・モニター)

業種

Q1 貴社の業種について、該当する番号を1つだけ○でお囲みください。
(複数の業種にて営業されている場合は、最も売上の大きい業種を選択してください)

- (1) 製造業 (2) 建設業 (3) 運輸・通信業
(4) 卸・小売業 (5) 飲食業 (6) 金融・保険業
(7) サービス業・不動産業 (8) その他 ()

景気

Q2 県内の現在(2023年11月)の景気について、昨年(2022年)11月と比較し、どのように感じておられますか。
該当する番号を1つだけ○でお囲みください。

- (1) かなり好転 (2) やや好転
(3) 変わらない (4) やや悪化
(5) かなり悪化 (6) その他 ()

理由・要因等

円市場

Q3 円相場の見通しについて、現在(2023年11月15日【円(1ドル=円) [終値] 150.50】)の為替水準を基準とすると、どこまで推移すると予測されますか。該当する番号を1つだけ○でお囲みください。

円高基調で推移			基準	円安基調で推移		
139円以下	140円～144円以下	145円～150.49円以下	150.50	150.51円～154円以下	155円～159円以下	160円以上
1	2	3		4	5	6

株式市場

Q 4 株式市場の見通しについて、現在（2023年11月15日【日経平均(円)[終値] 33,519.70】）の株式市場の水準を基準とすると、どこまで推移すると予測されますか。該当する番号を1つだけ○でお囲みください。

下がる(株安傾向)				基準	上がる(株高傾向)			
31,000円以下	31,001円 ~ 32,000円以下	32,001円 ~ 33,000円以下	33,001円 ~ 33,519.69円以下	33,519.70	33,519.71円 ~ 34,000円以下	34,001円 ~ 35,000円以下	35,001円 ~ 36,000円以下	36,001円以上
1	2	3	4		5	6	7	8

金利

Q 5 金利の見通しについて、現在（2023年11月10日【長期プライムレート 1.60%/年】）の金利水準を基準とすると、どのように予測されますか。該当する番号を1つだけ○でお囲みください。

下がる(低金利傾向)			基準	上がる(高金利傾向)		
0.5%以上下がる	0.26% ~ 0.49%下がる	0.01% ~ 0.25%下がる	1.60%	0.01% ~ 0.25%上がる	0.26% ~ 0.49%上がる	0.5%以上上がる
1	2	3		4	5	6

物価

Q 6 熊本市の消費者物価指数の見通しについて、現在（2023年9月）の「105.9」（前年同月比3.1%アップ）ですが、どのように予測されますか。該当する番号を1つだけ○でお囲みください。

(参考資料) 指数：令和2年(2020年) = 100

2022年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
99.7	100.0	100.4	100.8	101.1	101.2	101.6	102.0	102.8	103.4	103.7	103.7

2023年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
104.1	103.3	103.7	104.6	104.6	104.8	105.2	105.7	105.9	—	—	—

下がる				基準	上がる			
102.9以下	103.0 ~ 103.9	104.0 ~ 104.9	105.0 ~ 105.8	105.9	106.0 ~ 106.9	107.0 ~ 107.9	108.0 ~ 108.9	109以上
1	2	3	4		5	6	7	8

業 況

Q 7 貴社の現在（2023年11月）の業況を基準に、2024年の業況の見通しについて、どのように予測されますか。該当する番号を1つだけ○でお囲みください。

- (1) かなり好転 (2) やや好転
(3) 変わらない (4) やや悪化
(5) かなり悪化

Q 8 Q 7で「(3) 変わらない」と回答された方以外にお尋ねします。
主な要因として考えられることは何ですか。（複数回答可）

■ 「かなり好転」・「やや好転」の要因

- (1) 売上の増加 (2) 受注価格（単価）の上昇
(3) 受注（販売）数の増加 (4) 原材料・仕入価格の低下
(5) 人件費の減少 (6) 雇用環境（人員確保含む）の改善
(7) その他（ ）

■ 「かなり悪化」・「やや悪化」の要因

- (1) 売上の減少 (2) 受注価格（単価）の低下
(3) 受注（販売）数の減少 (4) 原材料・仕入価格の上昇
(5) 人件費の増加 (6) 雇用環境（人員確保含む）の悪化
(7) その他（ ）

経営の重視点

Q 9 貴社において2024年に重視されていることは何ですか。
なお、本問では回答集約の都合上、選択肢を下記の7項目に限定させて頂いております。該当の口欄に○印をお付けください。

	かなり重視	やや重視	重視しない
1. 売上高（完工高、取扱高）			
2. 収 益			
3. コスト削減			
4. マーケティング・販路開拓			
5. 人材の確保・育成			
6. IT化の推進			
7. 新分野への進出			

経営の問題点

Q10 2024年における貴社の経営上において想定される問題点は何ですか。該当する番号を3つ、○でお囲みください。

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| (1) 人手不足 | (2) 後継者の確保・育成 |
| (3) 需要やニーズの停滞・変化 | (4) 取引条件の悪化 |
| (5) 原油価格・材料費・仕入単価の上昇 | (6) 人件費の増加 |
| (7) 材料費・仕入単価・人件費以外の経費の増加 | (8) コスト上昇に伴う価格転嫁への対応 |
| (9) 金利負担の増加 | (10) 事業資金の借入難 |
| (11) 大型店、競合店の進出による競争激化 | (12) IT化(IoT・AIの活用等)への対応 |
| (13) インボイス制度・電帳法への対応 | |
| (14) その他() | |

2024年に期待すること

Q11-1 2024年に特に期待することは何ですか。該当する番号を3つ、○でお囲みください。

【国内(海外含む)】

- | | |
|--------------------|----------------------|
| (1) 国内景気の回復 | (2) コロナ禍からのリバウンド消費 |
| (3) インバウンド需要の増加 | (4) ウクライナ危機の収束 |
| (5) イスラエル・中東情勢の安定化 | (6) 優遇税制、減税等の税制措置 |
| (7) 為替の安定 | (8) 雇用環境(人員確保含む)の改善 |
| (9) 物価の安定 | (10) 物流2024年問題に対する支援 |

Q11-2 2024年に特に期待することは何ですか。該当する番号を2つ、○でお囲みください。

【県内】

- | | |
|---------------------|----------------------|
| (1) TSMC進出に伴う経済波及効果 | (2) 県外・海外からの交流人口の増加 |
| (3) 国際線増便による観光振興 | (4) 熊本都市圏における交通渋滞の緩和 |
| (5) 熊本市中心市街地の賑わい回復 | (6) 創業・開業の増加による経済活性化 |

コメント

熊本経済の発展に向けて、必要なこと、期待すること等について、ご意見、ご提言等ございましたら、ご自由にご記入願います。

※差支えなければ、事業所名のご記入をお願いいたします。

(事業所名)